

# CL3800/CL3700/CL3100

## 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CL3800/CL3700/CL3100 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2018年8月14日

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

# ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

## 【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

### (1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

### (2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

### (3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

### 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②型番 CL からはじまる LCD 搭載製品のみ	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	3年目以降	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

### 【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも関わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

## 【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対する保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

# 目次

---

ユーザーの皆様へ .....	i
ATEN ジャパン製品保証規定 .....	ii
製品についてのお問い合わせ .....	v
EMC 情報 .....	3
RoHS.....	3
安全にお使い頂くために.....	4
全般 .....	4
ラックマウント .....	6
同梱品.....	7
CL3800 .....	7
CL3700 .....	7
CL3100 .....	7
本マニュアルについて.....	9
マニュアル表記について.....	10
第1章 はじめに.....	11
概要.....	11
リアパネルにおけるセカンドコンソールポート .....	12
特長.....	13
システム要件.....	15
LCD コンソール .....	15
セカンドコンソール.....	15
ケーブル .....	15
OS.....	16
製品各部名称 .....	17
CL3800 フロントパネル .....	17
CL3800 リアパネル .....	20
CL3700/CL3100 フロントパネル.....	21
CL3700 リアパネル .....	24
CL3100 リアパネル .....	25
第2章 セットアップ方法.....	26
セットアップの前に.....	26

ラックマウントキットを使った取付方法 .....	28
イージーセットアップラックマウントキットを使った取付方法 .....	30
CL3800 のセットアップ .....	34
接続図 .....	35
CL3700 のセットアップ .....	36
接続図 .....	36
CL3100 のセットアップ .....	37
接続図 .....	38
<b>第 3 章 基本操作</b> .....	<b>39</b>
コンソールの開閉 .....	39
CL3800 .....	39
CL3700/CL3100 .....	43
操作上の注意事項 .....	44
LCD OSD 設定 .....	45
LCD ボタン .....	45
調整設定 .....	46
ホットプラグ .....	47
シャットダウンと再起動 .....	47
ホットキー .....	48
<b>第 4 章 ファームウェアアップグレード</b> .....	<b>50</b>
ファームウェアアップグレードユーティリティ .....	50
作業を始める前に .....	51
ファームウェアアップグレードモード .....	52
アップグレードの実行 .....	53
ファームウェアアップグレードリカバリー .....	57
ファームウェアアップグレードモードの終了 .....	57
<b>付録</b> .....	<b>58</b>
<b>製品仕様</b> .....	<b>58</b>
CL3800 .....	58
CL3700 .....	61
CL3100 .....	63
Sun キーボードエミュレーション .....	65
Mac キーボードエミュレーション .....	66
トラブルシューティング .....	67

## EMC 情報

---

### FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 のデジタル装置 Class A の規定に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)本製品による有害な干渉を発生しない。(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉をすべて受け入れる。

**FCC による注意:**本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

**警告:**本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。

## RoHS

---

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会および理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



## 安全にお使い頂くために

---

### 全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために 3 ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者にお問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。

- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
  - 電源コードが破損した。
  - 装置の上に液体をこぼした。
  - 装置が雨や水にぬれた。
  - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
  - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
  - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。
- ◆ 「UPGRADE」と書かれた RJ-11 コネクタを公衆通信網に接続しないようにしてください。
- ◆ 本製品をスタッキングする場合、ラックにロックする場合、フレームにネジ止めする場合やその他類似の方法で設置を行う場合には、製品を確実に固定するための安全装置が追加で必要になることがあります。
- ◆ 本製品は固定させて使用するよう設計されているため、通常の動作中には動かさないようにしてください。

## ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックにて LCD KVM ドロワーより上のマウント場所にケーブルマネジメントなどの前面に突出している物を取り付ける場合、LCD KVM ドロワーの液晶部分が干渉して、使用に適さない角度までしか開かない可能性があります。そのため、ご使用前に十分な空間や間隔が確保できているかご確認ください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ デバイスレールのリリース用ラッチを押しながらデバイスをスライドさせてラックに出し入れする際にはスライドレールに指を挟まないようご注意ください。
- ◆ デバイスがラックに挿入されたら、慎重にレールをロックする位置までスライドしてください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80% を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。
- ◆ **注意:** ラックにマウントされた LCD KVM ドロワーを柵や作業スペースとして使用しないでください。



## 同梱品

---

### CL3800

CL3800 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CL3800 USB/HDMI/DVI/VGA 対応 デュアルスライド LCD コンソールドロワー (ショートトラック対応) ×1
- ◆ 2L-7D02UH(1.8m)ケーブル ×1
- ◆ 電源ケーブル ×1
- ◆ ファームウェアアップグレードケーブル ×1
- ◆ クイックスタートガイド\* ×1
- ◆ イージーセットアップラックマウントキット(ショート or ロング) ×1

### CL3700

CL3700 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CL3700 USB/HDMI 対応 シングルスライド LCD コンソールドロワー (ショートトラック対応) ×1
- ◆ 2L-7D02UH(1.8m)ケーブル ×1
- ◆ 電源ケーブル ×1
- ◆ ファームウェアアップグレードケーブル ×1
- ◆ クイックスタートガイド\* ×1
- ◆ イージーセットアップラックマウントキット(ショート or ロング) ×1

### CL3100

CL3100 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CL3100 USB/VGA 対応 シングルスライド LCD コンソールドロワー (ショートトラック対応) ×1
- ◆ 2L-5302U(1.8m)ケーブル ×1
- ◆ 電源ケーブル ×1
- ◆ ファームウェアアップグレードケーブル ×1
- ◆ クイックスタートガイド\* ×1
- ◆ イージーセットアップラックマウントキット(ショート or ロング) ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

---

\* 本マニュアルの公開後に、製品仕様が追加される場合があります。最新版は弊社 Web サイトにアクセスしてご確認ください。

---

## 本マニュアルについて

---

このユーザーマニュアルは、CL3800/CL3700/CL3100 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。マニュアルは下記のとおり構成されています。

**第1章 はじめに:** CL3800/CL3700/CL3100 を紹介します。特長、機能概要および製品各部名称について説明します。

**第2章 セットアップ:** CL3800/CL3700/CL3100 のセットアップおよび一部の基本的な操作方法について説明します。

**第3章 基本操作:** CL3800/CL3700/CL3100 の操作方法について説明します。

**第4章 ファームウェアアップグレード:** お使いの CL3800/CL3700/CL3100 のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。

**付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

## マニュアル表記について

---

[ ]

入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

# 第1章 はじめに

## 概要

---

CL3800/CL3700/CL3100 は、18.5 インチワイド画面 LCD モニター・キーボード・タッチパッドを 1U サイズに統合したコンソールドロワーです。奥行きが従来品より短くなり、19 インチラックにも搭載できるため、中継車や小規模なコントロールルーム等、スペースが限られた場所での使用に最適です。

CL3800 は、HDMI、DVI、VGA の 3 種類のビデオ入力に対応しており、ユーザーはこの 3 種類のビデオソースからコンソールとコンピューターのインターフェースを自由に選んで使用することが可能です。

また、CL3800 はデュアルスライド構造を採用し、上下のモジュールが個別にスライド可能です。下部のキーボード&タッチパッドモジュールをラックに収納し、上部の LCD モジュールのみを起こして画面を表示できるので、モニタリングに便利な上に、スペースを有効活用できます。

CL3800 は複数のビデオインターフェースに対応しているのに対し、USB/HDMI 対応 LCD コンソールドロワーの CL3700 と、USB/VGA 対応 LCD コンソールドロワーの CL3100 は、それぞれ互換性のある KVM スイッチへのフロントエンドアクセスの手段を提供します。CL3700 および CL3100 は、両モデルともシングルスライドの構造を採用し、18.5 インチワイド画面 LCD モニター・キーボード・タッチパッドを 1U サイズに統合した製品です。

利便性をさらに高められるよう、ユーザーはセカンドコンソールから管理するコンピューターを選択することができます。リアパネルに提供されているセカンド KVM コンソール用のモニターポートは、HDMI (CL3800/CL3700)、DVI (CL3800 のみ)、または VGA (CL3800/CL3100) から選択可能です (キーボード/マウスは、いずれも USB インターフェース)。CL3800 および CL3100 のリアパネルにはオーディオスピーカー接続用のミニステレオポートが 2 箇所搭載されており、1 つはリアパネルの CPU セクションに、もう 1 つはセカンドコンソールセクションに、それぞれ配置されています。CL3800/CL3700/CL3100 はまた、本体のフロントパネルに外付け USB マウスポートを搭載しているため、製品本体に組み込まれたキーボードと併用することもできます。各モデルで利用可能なポートの一覧については、次のページに掲載されている「リアパネルにおける外付けコンソールポート」のセクションを参照してください。

LCD モニターの最大解像度は、フル HD 対応モデル(CL3800NW および CL3700NW)では 1920×1080 に、それ以外のモデル(CL3100NX、CL3800NX、および CL3700NX)では 1366×768 に、それぞれ対応しています。詳細については、p.58「製品仕様」を参照してください。

互換性のある KVM スイッチがサーバーラックにセットアップされている場合は、新たに KVM スイッチの機能を搭載した KVM ドrawer に買い替えなくても、本製品と併用することによってスペースを有効活用しながら簡単にラックマウント用のコンソールを追加することができます。

CL3800/CL3700/CL3100 のファームウェアはアップグレードすることができますので、弊社 Web サイトよりパッケージをダウンロードして本体に適用することで、本体の機能を最新の状態にすることができます。セットアップは同梱のファームウェアアップグレードケーブルを使用して、本製品の KVM ポートとお使いの KVM スイッチのコンソールポートとを接続するだけです。簡単な作業で、すぐに製品を使用することができます。

### リアパネルにおけるセカンドコンソールポート

型番	キーボード・マウス	オーディオ (スピーカー)	HDMI	VGA	DVI
CL3800	○	○	○	○	○
CL3700	○	-	○	-	-
CL3100	○	○	-	○	-

## 特長

---

### 【スペースの有効活用】

- ◆ LED ライト搭載 - 手元が暗い場合でもキーボードやタッチパッドの操作が可能
- ◆ 18.5 インチワイド画面 LCD 一体型コンソールドロワー - 1U サイズで快適なコンソール操作環境を提供
- ◆ ショートレールタイプ - 奥行きが短いため、狭い場所でのラックマウント作業が容易に
- ◆ デュアルスライド構造 - LCD パネル、キーボード&タッチパッドパネルは個別にスライド可能 (CL3800 のみ)
- ◆ コンソールロック機能 - 未使用時にはコンソールドロワーを内側にロック

### 【優れた A/V 機能】

- ◆ ビデオ入力は HDMI、DVI、VGA の 3 種類から選択可能 (CL3800 のみ)<sup>※1</sup>
- ◆ HDMI ビデオ入力対応 (CL3700 のみ)
- ◆ VGA ビデオ入力対応。セカンドコンソール (USB キーボード/マウスおよび VGA モニター) の接続に対応 (CL3100 のみ)
- ◆ 解像度 - (フル HD18.5 インチ LCD モニター搭載モデル CL3800NW、CL3700NW の場合) 1920×1080@60Hz、(18.5 インチ LCD モニター搭載モデル CL3800NX、CL3700NX、CL3100NX の場合) 1366×768@60Hz
- ◆ スピーカー対応 (CL3800、CL3100 のみ)

### 【柔軟なセットアップ】

- ◆ イージーセットアップ ラックマウントキット同梱
- ◆ 標準ラックマウントキット対応
- ◆ ソフトウェア不要
- ◆ ファームウェアアップグレード対応
- ◆ ホットプラグ対応

### 【豊富な操作性】

- ◆ セカンドコンソール (USB/HDMI/DVI/VGA) ポート搭載<sup>※1</sup>
- ◆ フロントパネルには USB マウスポートを搭載 - ホットプラグ対応。USB ハブポートとしても使用可能
- ◆ コンソールはホットキーで選択可能
- ◆ 標準 105 キー キーボード搭載

- ◆ 対応キーボード言語 - 日本語、英語(US/UK)、フランス語、ドイツ語(ドイツ/スイス)、ギリシア語、ハンガリー語、イタリア語、韓国語、ロシア語、スペイン語、スウェーデン語、中国語(繁体字)

---

**注意:** 1. 一度に表示できるのは1種類のビデオ信号(HDMI、DVI、VGA)のみです。

---

## システム要件

---

### LCD コンソール

- ◆ CL3800 は大半の ATEN 製 HDMI、DVI、VGA の各種インターフェースに対応した KVM スイッチと併用可能です。また、CL3700 は大半の ATEN 製 HDMI KVM スイッチと、CL3100 は大半の ATEN 製 VGA KVM スイッチと、それぞれ併用が可能です。
- ◆ CL3800NW および CL3700NW の LCD モニターの最大解像度は 1920×1080@60Hz です。また、CL3800NX、CL3700NX および CL3100NX の LCD モニターの最大解像度は 1366×768@60Hz です。接続されたコンピューターすべての解像度がこの LCD モニターの最大解像度を超えないように設定してください。

### セカンドコンソール

- ◆ (CL3800 の場合)接続されたコンピューターすべての最大解像度が表示できる、HDMI、DVI、または VGA モニター
- ◆ (CL3700 の場合)接続されたコンピューターすべての最大解像度が表示できる HDMI モニター
- ◆ (CL3100 の場合)接続されたコンピューターすべての最大解像度が表示できる VGA モニター
- ◆ USB キーボードおよびマウス

### ケーブル

最適な信号の整合性やシンプルなレイアウトを維持できるよう、下表に記載された各種ケーブル長の高品質専用ケーブルの使用を推奨します。これらのケーブルは販売店からお求めいただけます。

CL3800		
ケーブル長 (m)	タイプ	型番
1.8	USB、DVI	2L-7D02U
	USB、HDMI	2L-7D02UH
	USB、HDMI→DVI	2L-7D02DH
3	USB、DVI	2L-7D03U
5	USB、DVI	2L-7D05U

CL3700		
ケーブル長 (m)	タイプ	型番
1.8	USB、HDMI	2L-7D02UH

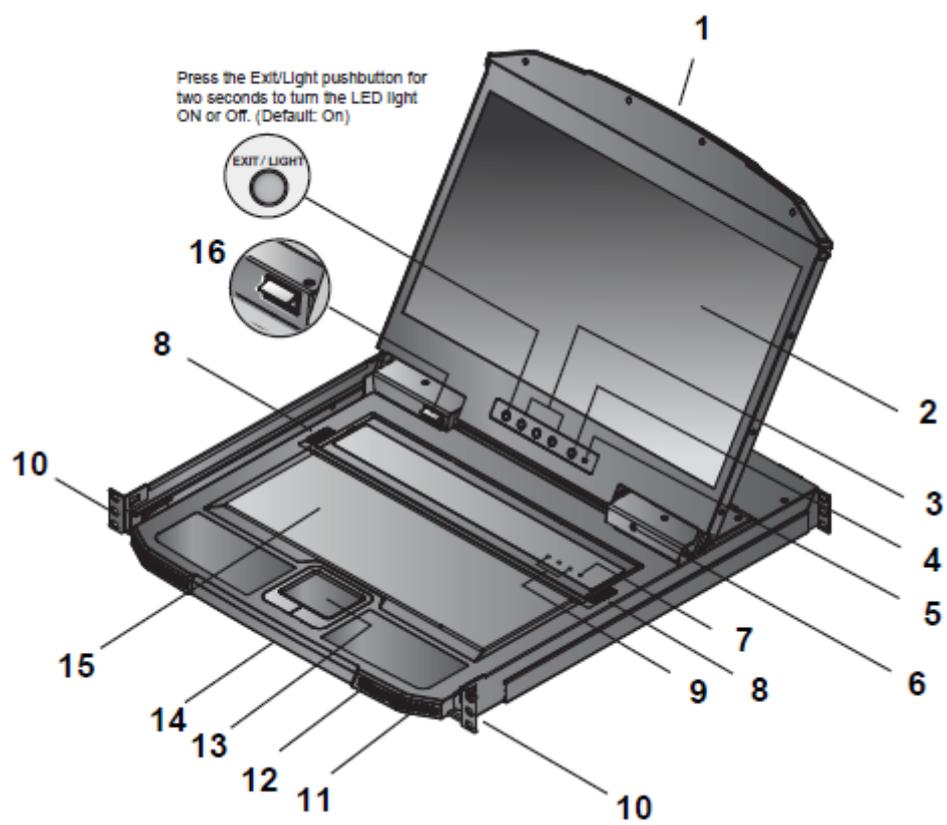
CL3100		
ケーブル長 (m)	タイプ	型番
1.2	USB、VGA	2L-5201U、2L-5301U
1.8		2L-5202U、2L-5302U
3		2L-5203U、2L-5303U
5		2L-5205U、2L-5305U

## OS

CL3800/CL3700/CL3100 の対応 OS は、Windows、Mac、Linux、Sun です。

## 製品各部名称

### CL3800 フロントパネル

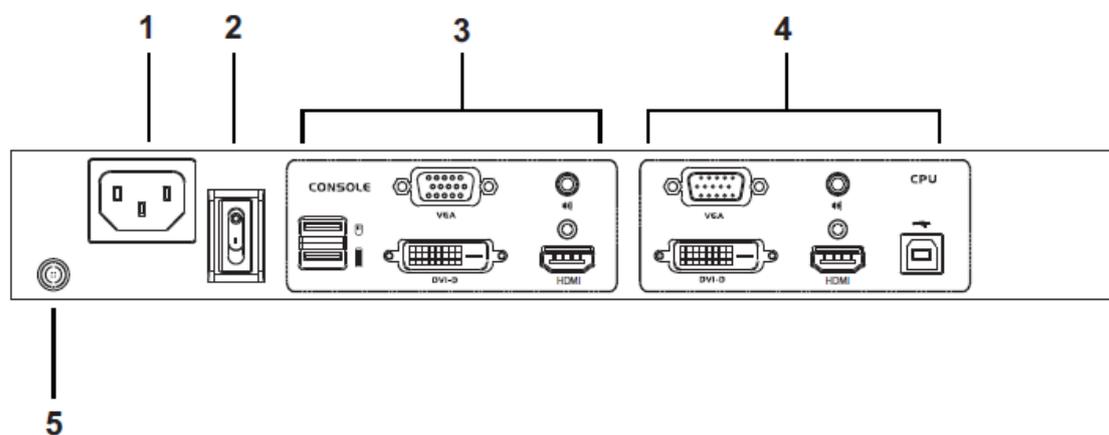


No.	名称	説明
1	上部ハンドル	LCD モジュールを引き出す、または中へ収納する際に使用します。コンソールの出し入れについての詳細は p.39「コンソールの開閉」を参照してください。
2	LCD モジュール	LCDモジュールを引き出した後、カバーを開けるとLCDディスプレイが使用できます。
3	LCD コントロール	ここに LCD ディスプレイの画像の位置や画質を設定するボタンがあります。詳細は p.45 を参照してください。
4	LCD ON/OFF ボタン	このボタンを押すと、LCD ディスプレイの ON/OFF ができます。LCD ディスプレイが OFF の時にはこのボタンが点灯します。 <b>注意:</b> このライトはディスプレイのみが OFF であることを示していません。接続された KVM スイッチの状態を表しているではありません。
5	ファームウェアアップグレードスイッチ	通常操作時、およびファームウェアアップグレード実行時には、このスイッチを「NORMAL」の位置に合わせてください。ファームウェアアップグレード操作が失敗した場合に、このスイッチを使用してファームウェアアップグレードリカバリーを行います。詳細は、p.57「ファームウェアアップグレードリカバリー」を参照してください。
6	ファームウェアアップグレードポート	この 3.5mm オーディオジャックと管理者のコンピューターをファームウェアアップグレードケーブルで接続すると、コンピューターからファームウェアを製品本体に転送します。
7	リセットスイッチ	ロック LED の右側にあるスイッチです。先の細い物でこのピンホール型スイッチを押すとシステムの再起動を実行します。
8	キーボードモジュールリリースキャッチ	この留め金を中へスライドさせて、ロックを解除すると、コンソールを引き出すことができます。
9	ロック LED	[Num Lock]、[Caps Lock]、[Scroll Lock]の LED ランプです。
10	ラックマウントタブ	製品本体の四隅にはラックマウントタブがあります。詳細は第 2 章「ハードウェアセットアップ」の「セットアップの前に」に記載されている注意書き 4 を参照してください。
11	電源 LED	製品本体に電源が入っている場合に点灯(グリーン)します。
12	USB ポート	この USB ポートには、コンソールに USB 周辺機器(フラッシュドライブ、CD-ROM ドライブなど)を接続したり、または外付マウスを使用したいユーザーが USB マウスを接続したりすることができます。

(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
13	タッチパッド	標準マウスタッチパッドです。
14	下部ハンドル	この部分を引っ張ると、LCD モジュールを引き出すことができます。コンソールの出し入れについての詳細は p.39「コンソールの開閉」を参照してください。
15	キーボード モジュール	JIS 準拠 105 キーボードです。
16	LED 照明	「Exit/Light」ボタンを 2 秒間押すと、LED 照明を ON または OFF に切り替えます (デフォルトでは ON に設定)。

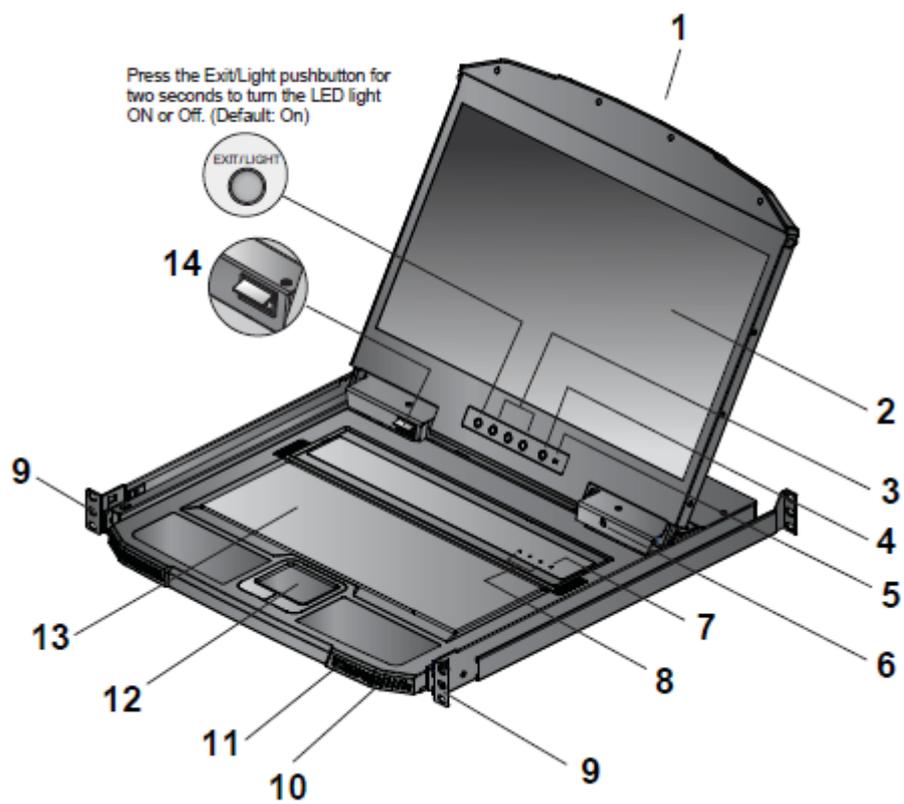
## CL3800 リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ソケット	3 極 AC 電源ソケットです。AC 電源からの電源コード※を接続します。
2	電源スイッチ	ロッカースイッチで、CL3800 の電源を入れたり切ったりします。
3	セカンドコンソール セクション	柔軟性と利便性を持たせるために、CL3800 ではセカンド KVM コンソールを接続することができます。セカンドコンソールとなる USB キーボード・マウス、モニター (HDMI、DVI、VGA のいずれか)、およびオーディオスピーカーのケーブルを接続します。
4	KVM ポートセクション	製品同梱の USB HDMI KVM ケーブル (CL3800 とコンピューターまたは KVM スイッチとの接続用) を接続します。DVI および VGA のポートが追加で提供されています。
5	接地ターミナル	製品本体を接地するための接地線を接続します。

**注意:** CL3800 は 200V の動作に対応していますが、100V 用の電源ケーブルのみ同梱しています。200V 環境にて使用される場合は、お客様にて電源ケーブルをご用意ください。

## CL3700/CL3100 フロントパネル

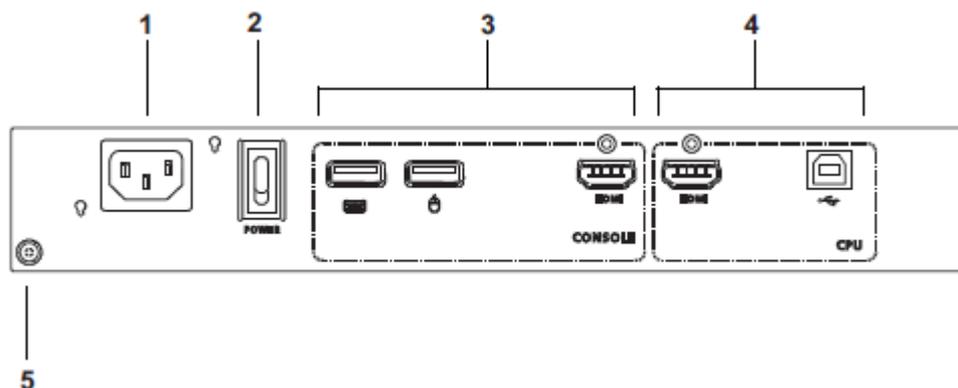


No.	名称	説明
1	上部ハンドル	LCD モジュールを引き出す、または中へ収納する際に使用します。コンソールの出し入れについての詳細は p.39「コンソールの開閉」を参照してください。
2	LCD モジュール	LCDモジュールを引き出した後、カバーを開けるとLCDディスプレイが使用できます。
3	LCD コントロール	ここに LCD ディスプレイの画像の位置や画質を設定するボタンがあります。詳細は p.45 を参照してください。
4	LCD ON/OFF ボタン	このボタンを押すと、LCD ディスプレイの ON/OFF ができます。LCD ディスプレイが OFF の時にはこのボタンが点灯します。 <b>注意:</b> このライトはディスプレイのみが OFF であることを示していません。接続された KVM スイッチの状態を表しているではありません。
5	ファームウェアアップグレードスイッチ	通常操作時、およびファームウェアアップグレード実行時には、このスイッチを「NORMAL」の位置に合わせてください。ファームウェアアップグレード操作が失敗した場合に、このスイッチを使用してファームウェアアップグレードリカバリーを行います。詳細は、p.57「ファームウェアアップグレードリカバリー」を参照してください。
6	ファームウェアアップグレードポート	この 3.5mm オーディオジャックと管理者のコンピューターをファームウェアアップグレードケーブルで接続すると、コンピューターからファームウェアを製品本体に転送します。
7	リセットスイッチ	ロック LED の右側にあるスイッチです。先の細い物でこのピンホール型スイッチを押すとシステムの再起動を実行します。
8	ロック LED	[Num Lock]、[Caps Lock]、[Scroll Lock]の LED ランプです。
9	ラックマウントタブ	製品本体の四隅にはラックマウントタブがあります。詳細は第 2 章「ハードウェアセットアップ」の「セットアップの前に」に記載されている注意書き 4 を参照してください。
10	電源 LED	製品本体に電源が入っている場合に点灯(グリーン)します。
11	USB ポート	この USB ポートには、コンソールに USB 周辺機器(フラッシュドライブ、CD-ROMドライブなど)を接続したり、または外付マウスを使用したいユーザーが USB マウスを接続したりすることができます。
12	タッチパッド	標準マウスタッチパッドです。

(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
13	キーボード モジュール	JIS 準拠 105 キーボードです。
14	LED 照明	「Exit/Light」ボタンを 2 秒間押すと、LED 照明を ON または OFF に切り替えます (デフォルトでは ON に設定)。

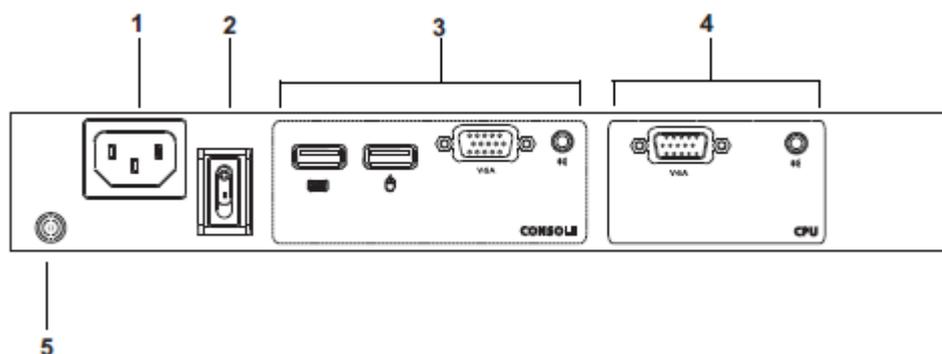
## CL3700 リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ソケット	3 極 AC 電源ソケットです。AC 電源からの電源コード※を接続します。
2	電源スイッチ	ロッカースイッチで、CL3700 の電源を入れたり切ったりします。
3	セカンドコンソール セクション	柔軟性と利便性を持たせるために、CL3700 ではセカンド KVM コンソールを接続することができます。セカンドコンソールとして使用する USB キーボード・マウスおよび HDMI モニターを接続します。
4	KVM ポートセクション	製品同梱の KVM ケーブル (CL3700 とコンピューターまたは KVM スイッチとの接続用) を接続します。
5	接地ターミナル	製品本体を接地するための接地線を接続します。

**注意:** CL3700 は 200V の動作に対応していますが、100V 用の電源ケーブルのみ同梱しています。200V 環境にて使用される場合は、お客様にて電源ケーブルをご用意ください。

## CL3100 リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ソケット	3 極 AC 電源ソケットです。AC 電源からの電源コード※を接続します。
2	電源スイッチ	ロッカースイッチで、CL3100 の電源を入れたり切ったりします。
3	セカンドコンソール セクション	柔軟性と利便性を持たせるために、CL3100 ではセカンド KVM コンソールを接続することができます。セカンドコンソールとして使用する USB キーボード・マウスおよび VGA モニターを接続します。
4	KVM ポートセクション	製品同梱の KVM ケーブル (CL3100 とコンピューターまたは KVM スイッチとの接続用) を接続します。
5	接地ターミナル	製品本体を接地するための接地線を接続します。

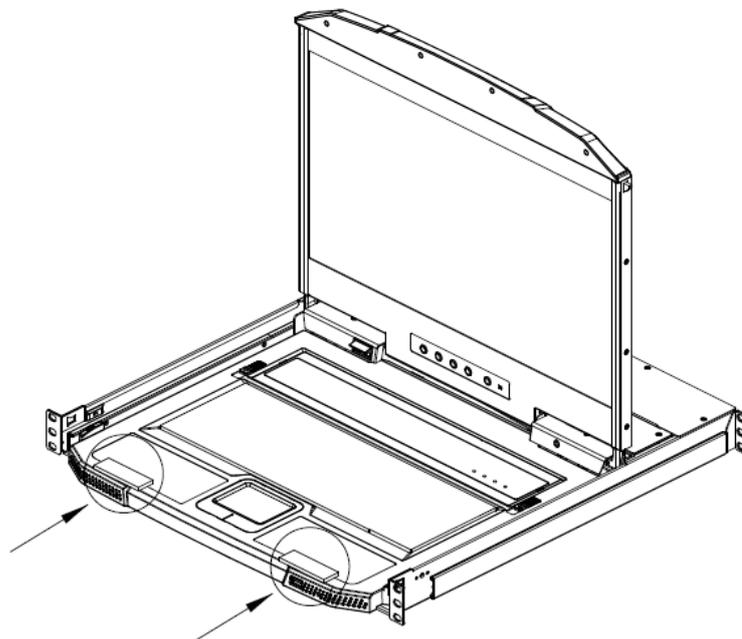
**注意:** CL3100 は 200V の動作に対応していますが、100V 用の電源ケーブルのみ同梱しています。200V 環境にて使用される場合は、お客様にて電源ケーブルをご用意ください。

## 第2章 セットアップ方法

### セットアップの前に

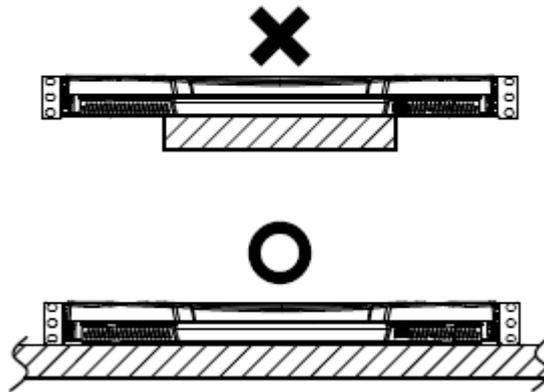


1. 機器の設置に際し重要な情報をp.4に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。
3. (CL3800のみ)CL3800の製品本体を輸送中の衝撃から保護するために、製品パッケージには梱包材が同梱されています。この梱包材が見える場所まで、LCD モジュールを引き出し(p.39「コンソールの開閉」参照)、下図に示す部分にある梱包材を取り外してから、製品本体の設置を行うようにしてください。



4. 製品本体はラックにマウントできるよう設計されています。本製品をラックマウントせずにお使いになる場合は、不均衡に力をかけることで製品に損傷を与えないように、製品本体を水平で安定している場所に設置してから、コンソールの出し入れを行うようにしてください。

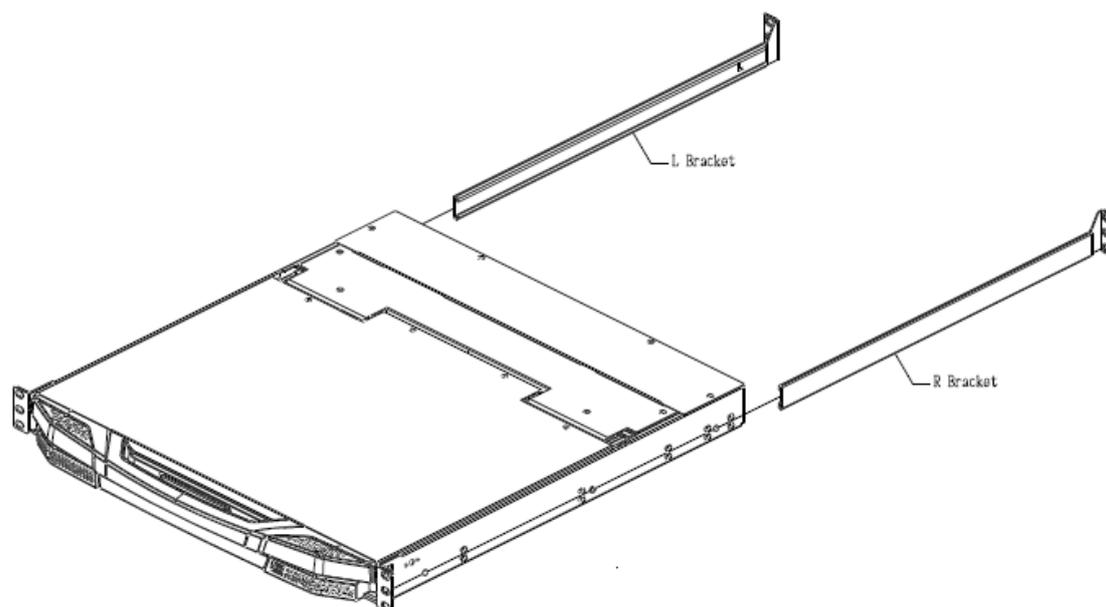
水平で安定した面に設置すること



## ラックマウントキットを使った取付方法

---

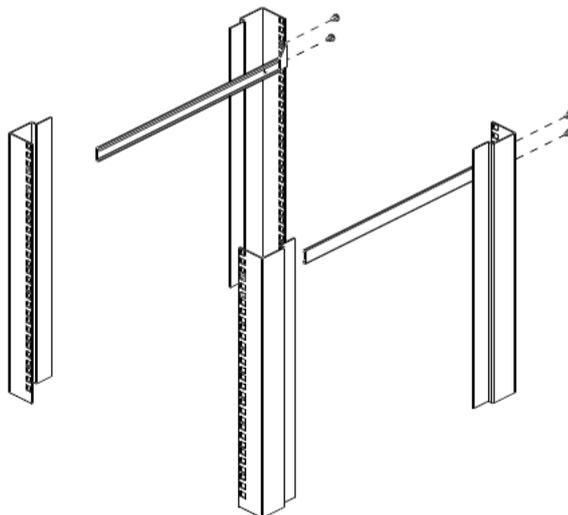
付属のラックマウントキットを使用して、製品本体の取り付けができるラックの奥行きはそれぞれ、CL3800 で 47～75cm、CL3700/CL3100 で 42～72cm です。



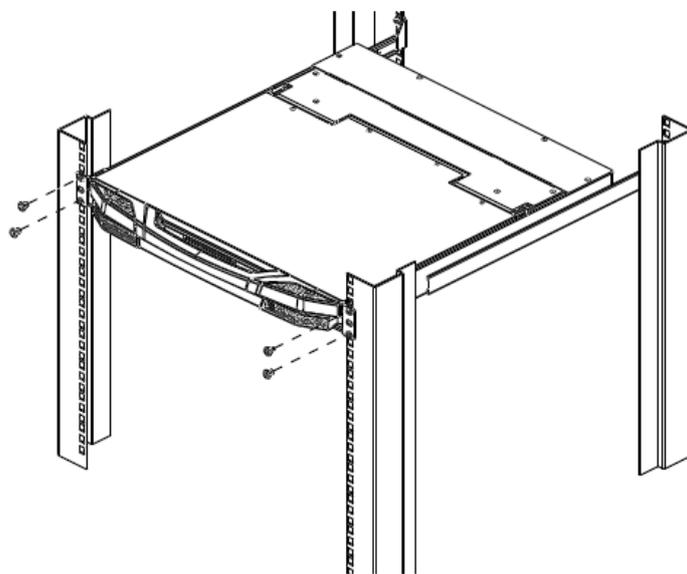
- 
- 注意:**
1. 製品のラックへの取付作業は本製品を保持する作業者とネジ止めする作業者と  
いうように 2 人以上で行うようにしてください。
  2. ラックマウントキットにはネジやケージナットは同梱されていません。追加でネジ  
やケージナットが必要な場合は、ラック販売店にお問い合わせください。
  3. 日本国内向けモデルには、イージーセットアップラックマウントキットが同梱され  
ており、イージーセットアップラックマウントキットでの取付を推奨しています。イ  
ージーセットアップラックマウントキットの取付方法は p.30 をご参照ください。
-

ラックへの取付は以下の手順で行ってください。

1. 左右のラックマウント用ブラケットをラックの後方の支柱に取り付けます。ブラケットのタブ部分にネジを4箇所取り付けて、固定してください。



2. 最初の作業員が左右のバーをマウント用ブラケットにスライドさせて製品本体を挿入したら、もう一人の作業員はラックのフロント側にあるタブに4箇所ネジ止めして、製品本体をラックのフロント側に固定してください。



---

**注意:** 適切なエアフローを確保するために製品の両側に少なくとも 5cm 程度、ケーブル取り回しのスペースを確保するために製品リア側に少なくとも 13cm 程度の余裕を設けて設置してください。

---

## イーजीセットアップラックマウントキットを使った取付方法

イーजीセットアップラックマウントキットは、標準キットに比べて非常に簡単に製品のマウント作業ができるように設計されたものです。対応ラックの仕様は下記をご参照ください。

モデル		対応ラック奥行き (取付支柱間の距離)	型番
CL3800	フル HD 18.5 インチ LCD モニター 搭載モデル	ショートレール (型番: 2X-041G) (45cm~70cm)	CL3800NWJJS
		ロングレール (型番: 2X-042G) (68cm~105cm)	CL3800NWJL
	18.5 インチ LCD モニター 搭載モデル	ショートレール (型番: 2X-041G) (45cm~70cm)	CL3800NXJJS
		ロングレール (型番: 2X-042G) (68cm~105cm)	CL3800NXJL
CL3700	フル HD 18.5 インチ LCD モニター 搭載モデル	ショートレール (型番: 2X-041G) (42cm~70cm)	CL3700NWJJS
		ロングレール (型番: 2X-042G) (68cm~105cm)	CL3700NWJL
	18.5 インチ LCD モニター 搭載モデル	ショートレール (型番: 2X-041G) (42cm~70cm)	CL3700NXJJS
		ロングレール (型番: 2X-042G) (68cm~105cm)	CL3700NXJL
CL3100	18.5 インチ LCD モニター 搭載モデル	ショートレール (型番: 2X-041G) (42cm~70cm)	CL3100NXJJS
		ロングレール (型番: 2X-042G) (68cm~105cm)	CL3100NXJL

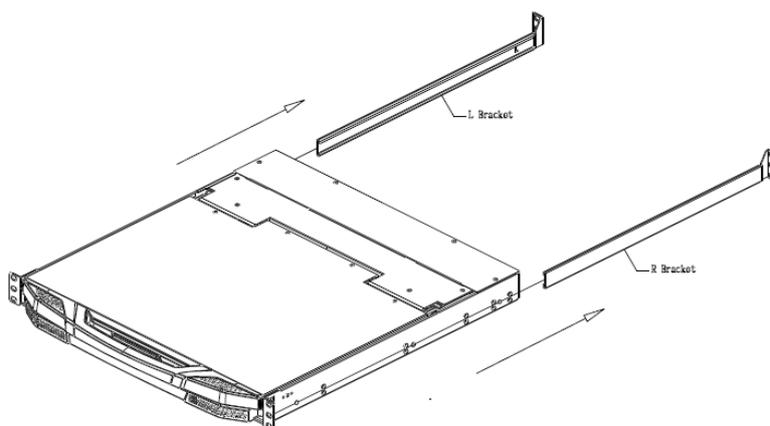
**注意:** ラックマウントキットの対応奥行き表示は、ラック取付支柱間の距離を表しています。実際のラックマウント作業の際には、ラック内寸に対するドロワー本体の奥行きやケーブル取り回しを考慮する必要がありますのでご注意ください。

ロングレールキットのラックマウントキットを取り付けるには、同梱のショートレールをロングレールに交換し、p.28「ラックマウントキットを使った取付方法」に記載の作業手順に沿って

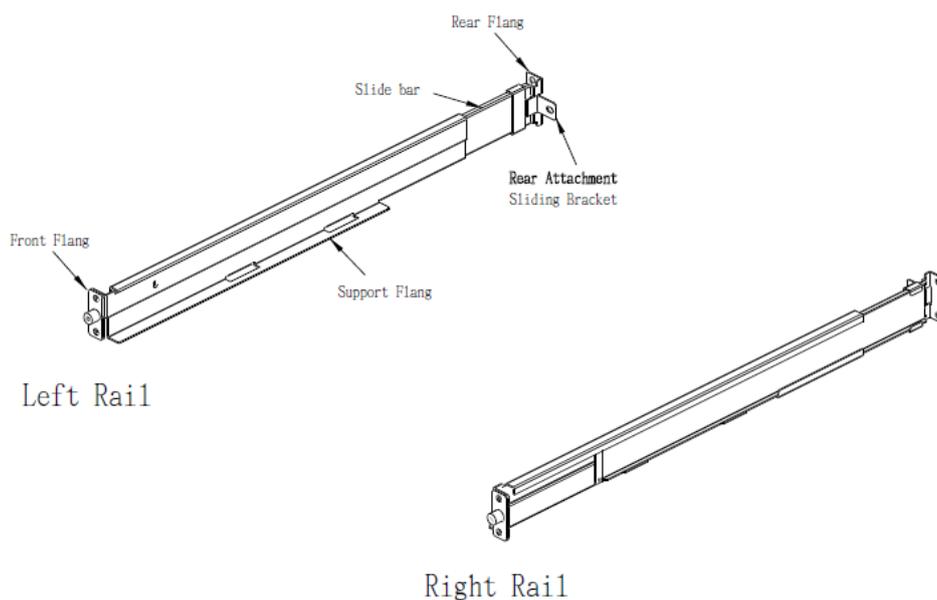
CL3800/CL3700/CL3100を取り付けるだけです。本製品をラックマウントせずにお使いになる場合は、不均衡に力をかけることで製品に損傷を与えないように、p.27 の図にあるように製品本体を水平で安定している場所に設置してから、コンソールの出し入れを行うようにしてください。

イーザーセットアップラックマウントキットを使用してのマウント作業は下記の手順に従ってください（ショート/ロング共通）。

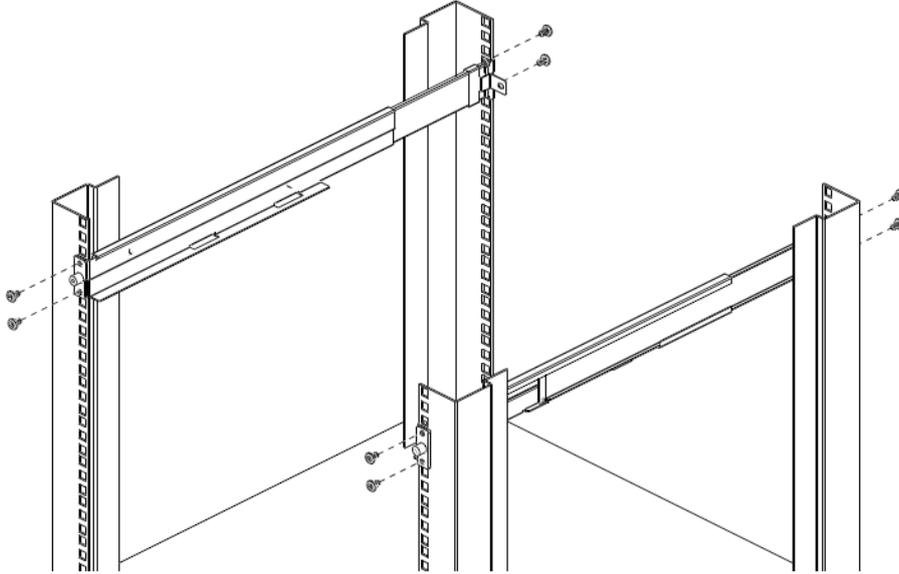
1. CL3800/CL3700/CL3100 の両側から標準スライドブラケットを外してください。



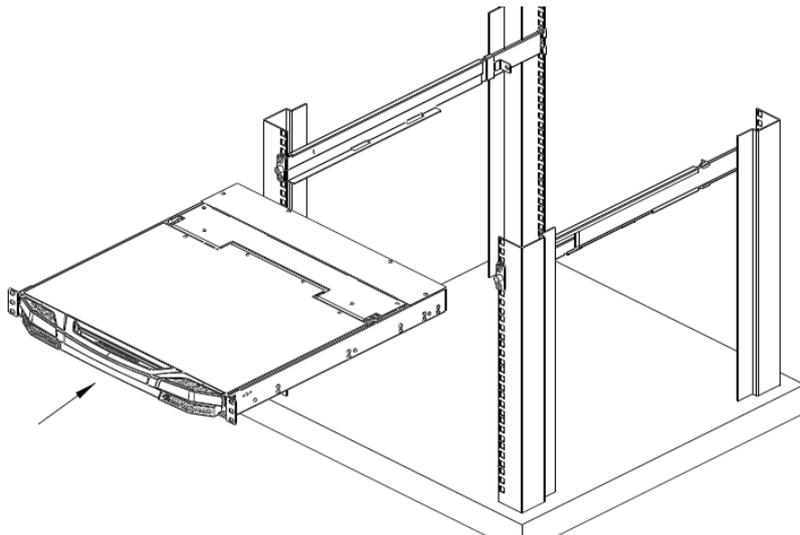
2. ラックの内側に左右のイーザーラックマウントキットのレールを取り付けてください。CL3800/CL3700/CL3100 を支えるフランジが中に入っています。ラックとレールを取り付けるビスやケージナットは本製品に同梱しておりませんので、別途ラックメーカーよりご購入ください。



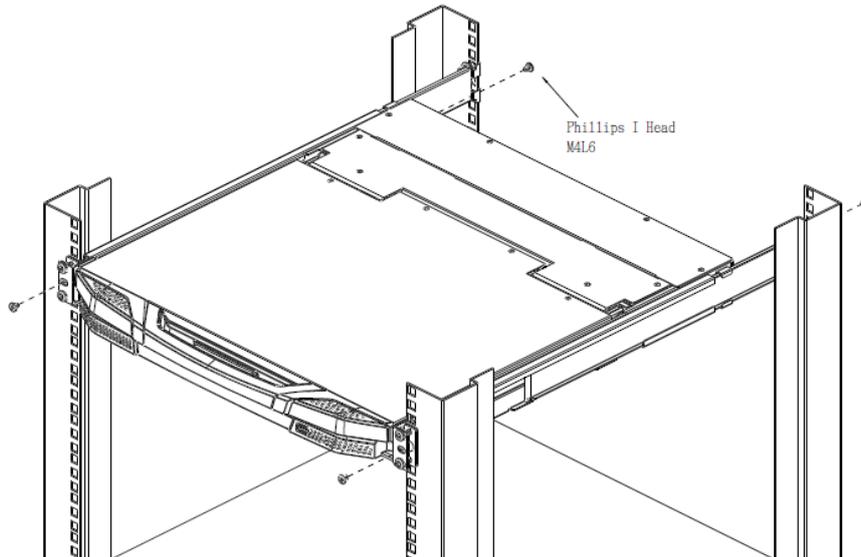
- a) まず、フロントフランジをラックにネジ止めしてください。
- b) レールのスライドバーをリアフランジがラックに接触するまでスライドさせた後、リアフランジをラックにネジ止めしてください。



3. サポートフランジの上に CL3800/CL3700/CL3100 をスライドさせてください。本製品に同梱されているネジを使用して本製品のフロントパネルとラックのフロント部分を軽くネジ止めしてください。



4. リアアタッチメントスライディングブラケットをスライドバーが CL3800/CL3700/CL3100 のリア部分に接触するまでスライドさせた後、本製品に同梱されているネジを使用してスライドバーを本製品のリア部分にしっかりと最後までネジ止めしてください。



5. CL3800/CL3700/CL3100 を何回かスライドさせて出し入れして、本製品が正しい位置に設置され、スムーズに出し入れができ、収納時にロックできることを確認してください(出し入れ方法については、p.39「コンソールの開閉」を参照)。
6. CL3800/CL3700/CL3100 が正しい位置に設置され、操作も正しく行えることが確定したら、手順3で軽くネジ止めたフロント部分のネジを全てしっかりとネジ止めしてください。

## CL3800 のセットアップ

---

次ページの接続図を参照しながらセットアップ手順に従ってください。

1. 本製品に同梱されている(または別途購入された) KVM ケーブル(p.15「ケーブル」参照)の USB、モニター (VGA、DVI-D、HDMI のいずれか) およびオーディオの各コネクタを CL3800 本体のリア側にある KVM ポートに接続してください。

---

**注意:** CL3800 はスピーカーの接続にのみ対応しており、マイクロフォンには対応していません。KVM ケーブルのスピーカージャック(グリーン)を CL3800 のオーディオポートに接続するようにしてください。なお、CL3800 製品本体にはスピーカーは内蔵されていません。

---

2. KVM ケーブルのキーボード、モニター、マウスおよびオーディオの各コネクタを、コンピューターの対応ポートに、それぞれ接続してください。

3. セカンドコンソールを使用する場合、キーボード、モニター、マウスおよびスピーカーを CL3800 のコンソールセクションにある対応ポートにそれぞれ接続してください。

---

**注意:** CL3800 はセカンドコンソールモニターとして VGA、DVI-D、HDMI の各モニターに対応していますが、一度に表示できるのは 1 種類のビデオ信号 (VGA、DVI-D、HDMI のいずれか) のみです。DVI モニターでは DVI-D 信号のみが表示されません。

---

4. 電源ケーブルを CL3800 の電源ソケットに接続してから AC 電源に接続してください。

5. CL3800 の電源を入れてください。

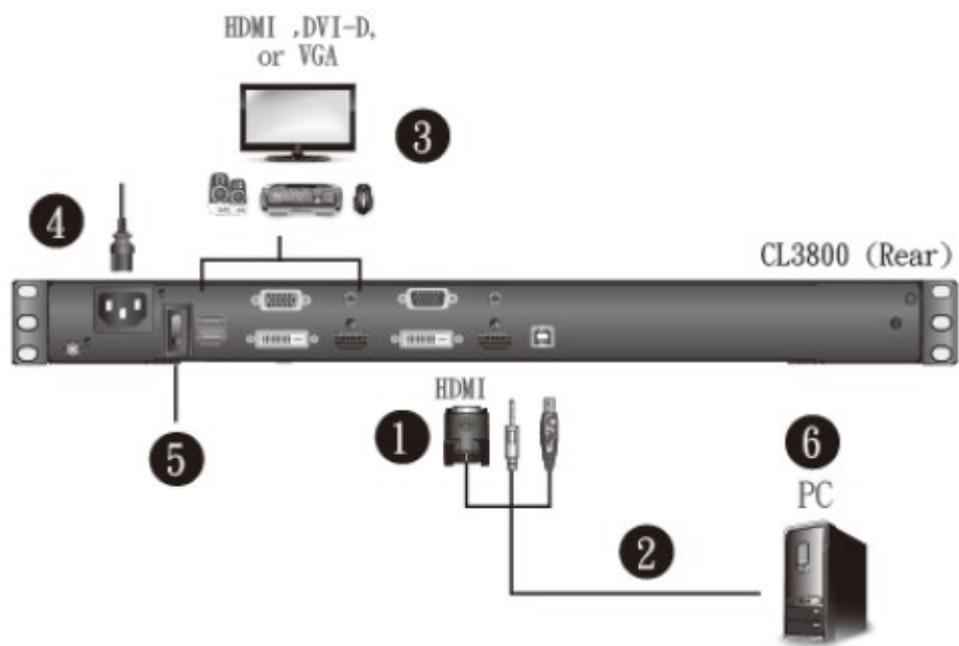
6. お使いのコンピューターに電源を入れてください。

---

**注意:** 構成によっては、CL3800 の電源を投入後、解像度が正しく設定できない場合は、KVM 側の「ビデオダイナミック機能」や「Update Display Info」、「モジュールディスプレイ情報の更新」等を行ってください。また、サーバーによっては、解像度情報が OS の再起動によって反映されることがあります。

---

## 接続図

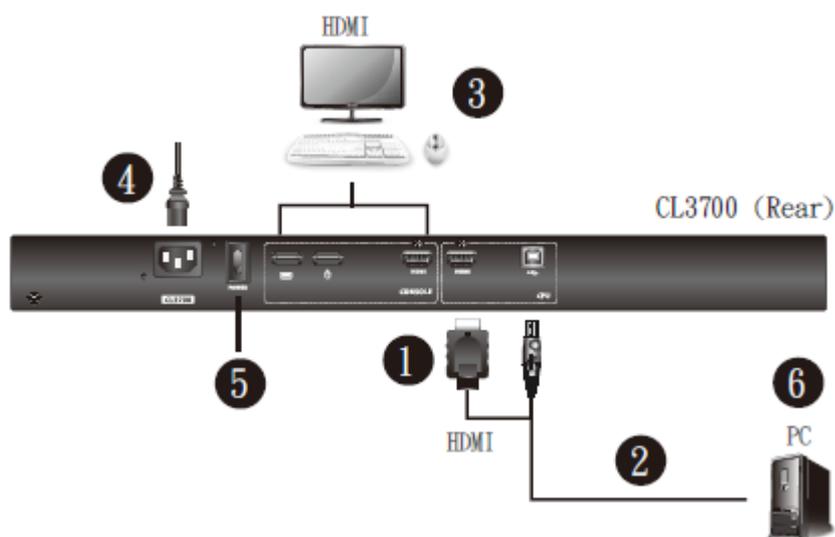


## CL3700 のセットアップ

次の接続図を参照しながらセットアップ手順に従ってください。

1. KVM ケーブルの HDMI および USB タイプ B の各コネクタを、CL3700 本体のリアパネルにある KVM ポートに接続してください。
2. KVM ケーブルの USB タイプ A および HDMI の各コネクタを、コンピューターの対応ポートに、それぞれ接続してください。
3. セカンドコンソールを使用する場合、キーボード、モニター、およびマウスを CL3700 のコンソールセクションにある対応ポートにそれぞれ接続してください。
4. 電源ケーブルを CL3700 の電源ソケットに接続してから AC 電源に接続してください。
5. CL3700 の電源を入れてください。
6. お使いのコンピューターに電源を入れてください。

### 接続図



## CL3100 のセットアップ

---

次の接続図を参照しながらセットアップ手順に従ってください。

1. KVM ケーブルの VGA およびオーディオの各コネクタを、CL3100 本体のリアパネルにある KVM ポートに接続してください。

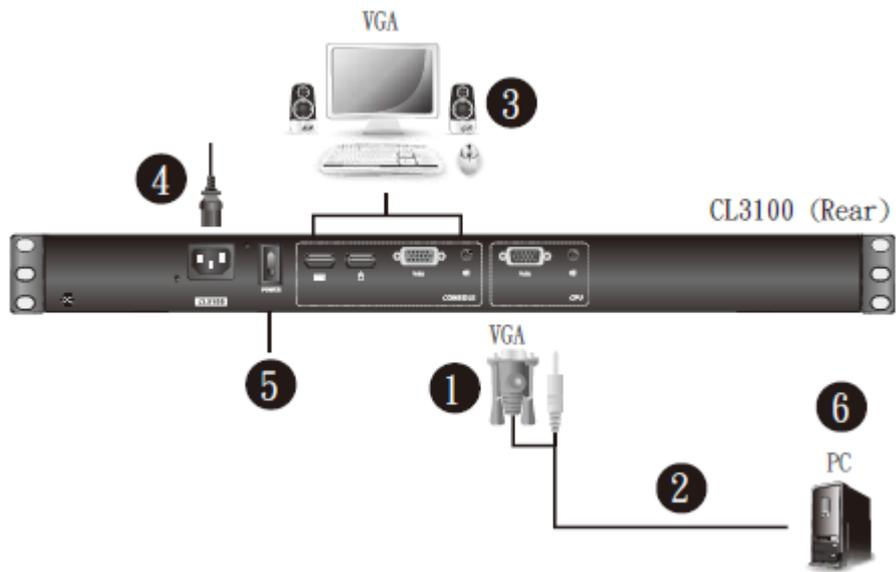
---

**注意：** CL3100 はスピーカーの接続にのみ対応しており、マイクロフォンには対応しておりません。KVM ケーブルのスピーカージャック(グリーン)を CL3100 のオーディオポートに接続するようにしてください。

---

2. KVM ケーブルの USB、VGA およびオーディオの各コネクタを、コンピューターの対応ポートに、それぞれ接続してください。
3. セカンドコンソールを使用する場合、キーボード、モニター、マウスおよびスピーカーを CL3100 のコンソールセクションにある対応ポートにそれぞれ接続してください(マイクロフォンには対応していません)。
4. 電源ケーブルを CL3100 の電源ソケットに接続してから AC 電源に接続してください。
5. CL3100 の電源を入れてください。
6. お使いのコンピューターに電源を入れてください。

## 接続図



# 第3章 基本操作

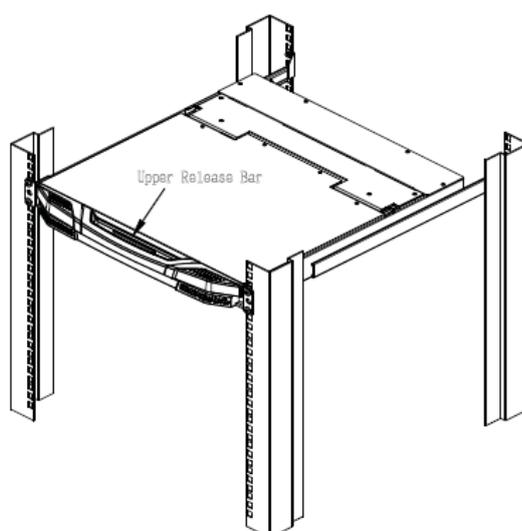
## コンソールの開閉

CL3800 製品本体は、上部にある 18.5 インチの LCD パネルと、下部にあるキーボード/タッチパッドパネルから構成されています。各モジュールは同時に使用することもできますし、それぞれ個別に動かすことも可能です。この機能によって、キーボード/タッチパネルモジュールが必要でない場合は、このモジュールを収納したまま LCD ディスプレイだけを引き出して使用することができます。

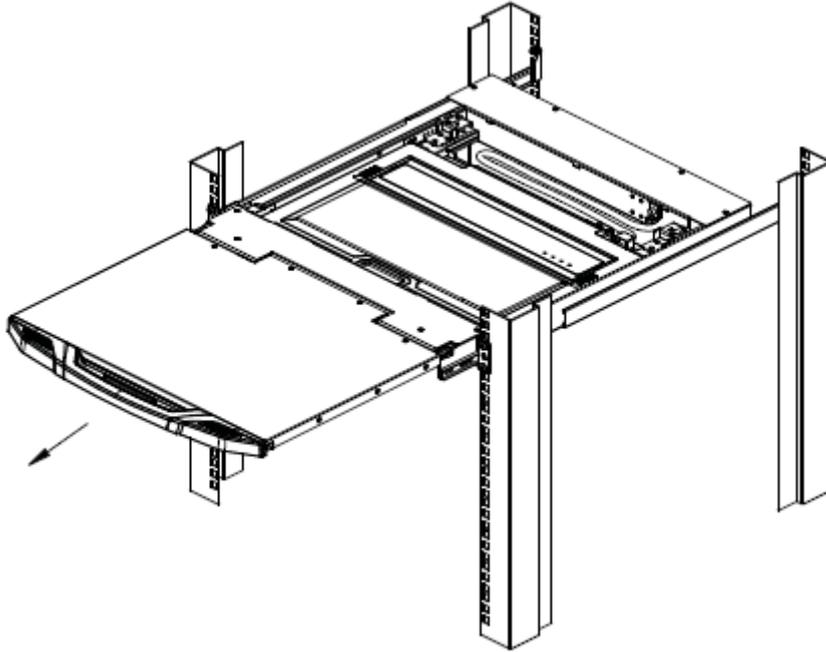
CL3700 と CL3100 はシングルレールタイプのコンソールドロワーですので、LCD モジュールとキーボード/タッチパッドモジュールを個別にスライドさせることができません。これらのモデルをお使いの場合は、両方のモジュールを同時にスライドさせてください。

### CL3800

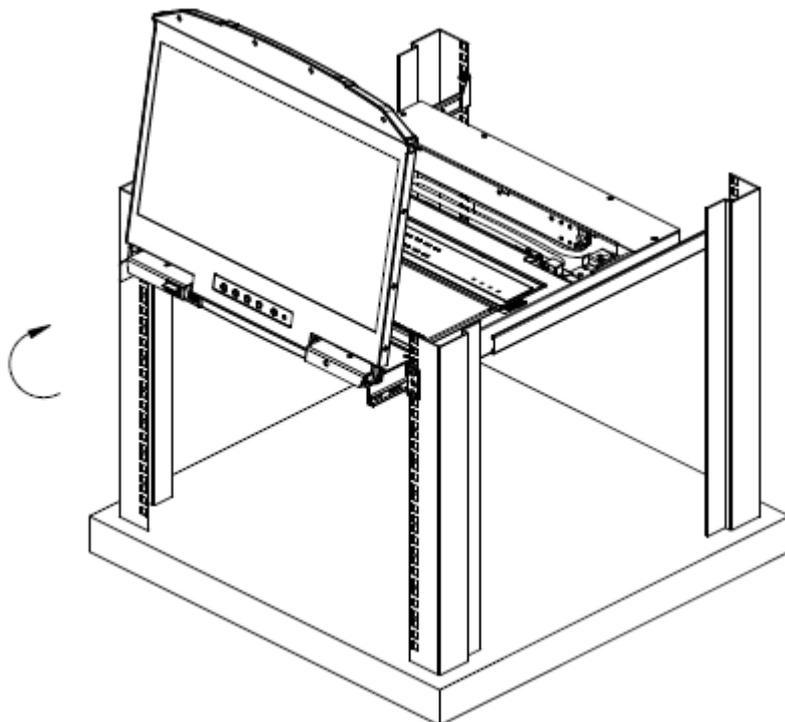
1. 上部のリリースバーハンドルを使って、パネルモジュールを手前に引き出してください。



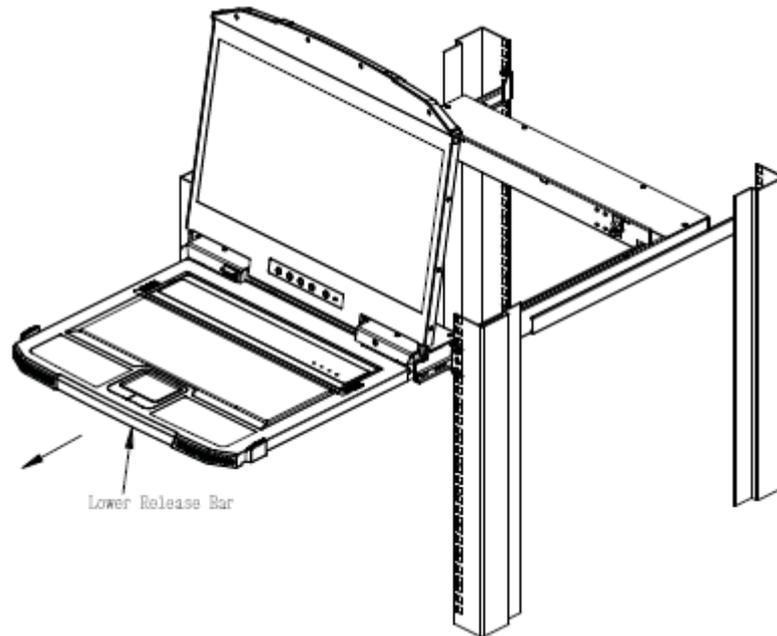
2. 「カチッ」という音がするまでパネルモジュールを手前に引き出してください。



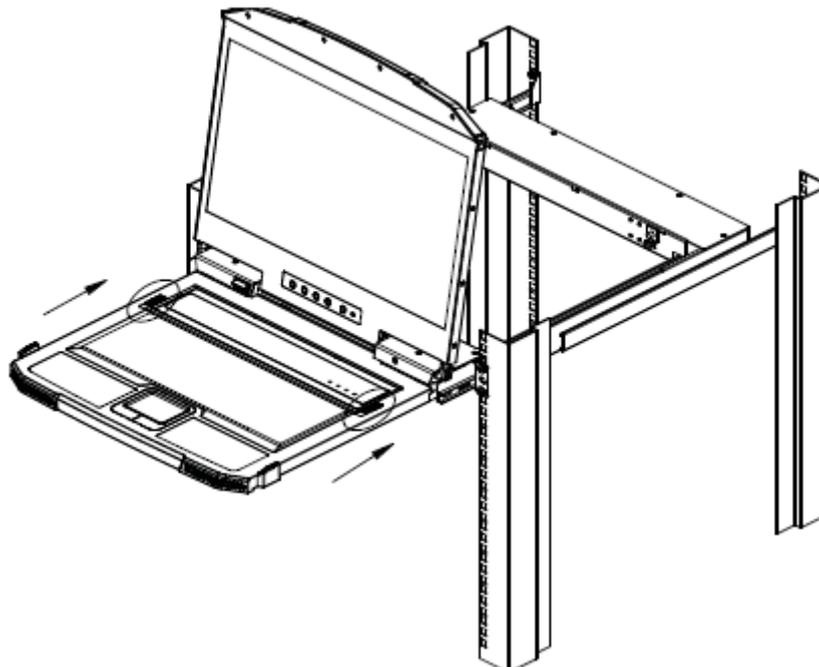
3. LCD パネルが見えるように上部パネルを完全に起こしてください。



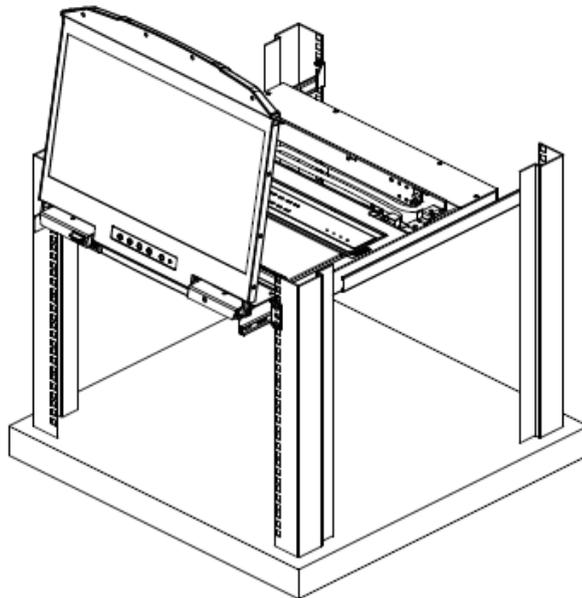
4. 下部のリリースバーを使って、キーボードモジュールが「カチッ」という音がするまで手前に引き出してください。



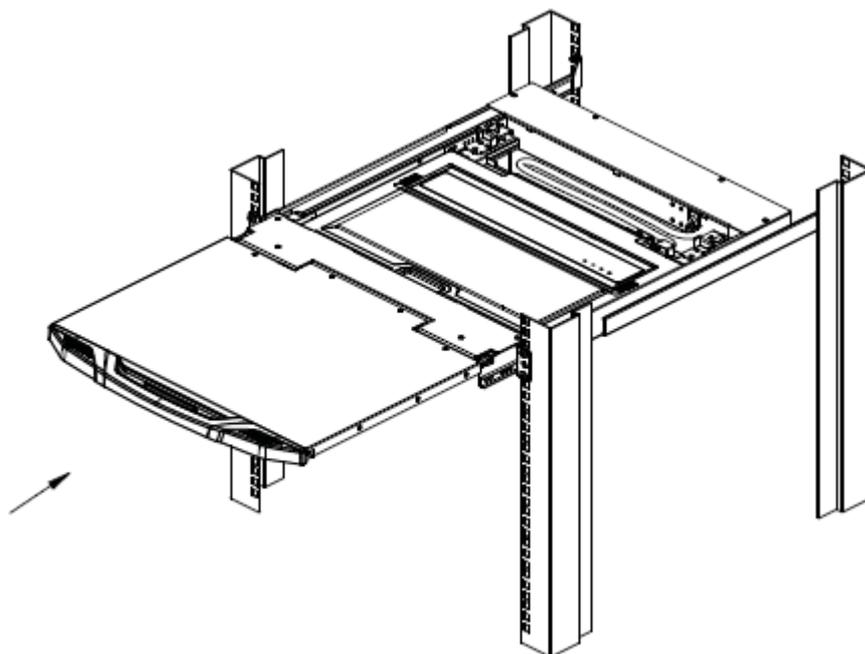
5. キーボード/タッチパッドパネルだけをラックに収納する場合は、このパネルの両側にあるキーボードモジュールリリースをスライドさせてから、キーボード/タッチパッドパネルを奥に押し込んでください。



6. キーボード/タッチ패드パネルが完全に収納されるまで奥にスライドさせてください。



7. LCD パネルを収納する場合は、このパネルが水平になるよう下に倒し、スライドさせて奥まで押しこんでください。



## CL3700/CL3100

CL3700/CL3100 のコンソールを開閉するには、下図を参考にしながら次の手順に従って操作を行ってください。

1. 上部ハンドルのリリースバーを引っ張って、キーボードパネルから「カチッ」という音がするまで上部と下部の両パネルを引き出したら、LCD パネルを起こしてください。
2. コンソールを閉じる場合は、LCD パネルが水平になるまで倒してから、上下両方のパネルをラックに押し込んで収納してください。

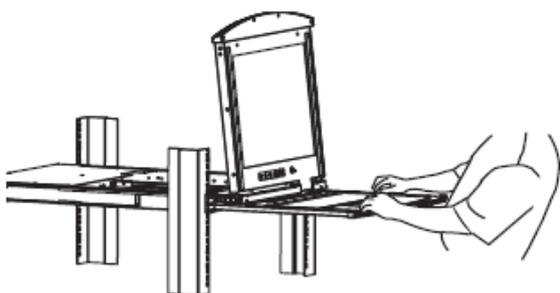


## 操作上の注意事項

---

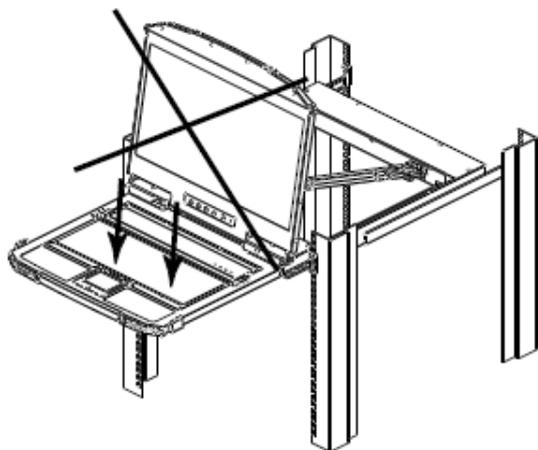


キーボードモジュールの最大積載重量は 30kg です。キーボードモジュールが破損するのを防ぐために下記の注意事項を守ってください。



### 正しい使用方法

手を軽くキーボードモジュールに置いて作業する。



### 間違った使用方法

- ◆ キーボードモジュールに**体重**をかけないでください。
- ◆ キーボードモジュールに**重いもの**を載せないでください。

## LCD OSD 設定

### LCD ボタン

OSD を使用して LCD ディスプレイのセットアップや設定を行うことができます。設定には下表で示した 4 つのボタンが使用されます。

ボタン	機能
MENU	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ LCD OSD メニュー機能を使用していない時にこのボタンを押すと、OSD メニュー機能を起動し、メインメニューを表示します。</li><li>◆ OSD メニューが表示されている時、このボタンは決定ボタンとして機能します。</li></ul>
	メニューを操作する際に、このボタンを押すと右、または上に移動します。調節を行う際に、このボタンを押すと値を増やすことができます。
	メニューを操作する際に、このボタンを押すと左、または下に移動します。調節を行う際に、このボタンを押すと値を減らすことができます。
EXIT	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ LCD OSD メニュー機能を使用していない時にこのボタンを押すと、自動調整を実行します。自動調整では、OSD 側で最適な設定値を自動検出して LCD パネルの設定を行います。</li><li>◆ LCD OSD メニュー機能を使用している時にこのボタンを押すと、現在のメニューをキャンセルし、一つ前にメニューに戻ります。設定が済んだら、このボタンを押して調整メニューを終了してください。</li><li>◆ メインメニュー機能使用時にこのボタンを押すと、LCD OSD メニューを終了します。</li></ul>

## 調整設定

LCD OSD メニューの調整設定の詳細は下表のとおりです。

設定	説明
Brightness (明るさ)	スクリーンイメージのバックグラウンドの明るさを調整します。
Contrast (コントラスト)	スクリーンイメージのフォアグラウンドのコントラストを調整します。
Phase (フェーズ)	ピクセルジッターまたは水平線のノイズが画面に見える場合、ご使用の LCD のフェーズ設定が正しくない可能性があります。この問題を解決するにはフェーズ設定を調整してください。
Clock (クロック)	画面縦方向の波が見える場合、ご使用の LCD のクロック設定が正しくない可能性があります。この問題を解決するにはクロック設定を調整してください。
H-Position (水平位置)	LCD パネルの表示範囲の横方向の位置を設定します (表示範囲を左右に移動します)。
V-Position (垂直位置)	LCD パネルの表示範囲の縦方向の位置を合わせます (表示範囲を上下に移動します)。
Color Temperature (色温度)	ディスプレイの色温度を調整します。赤みの度合いやカラーバランスが調整できます。「Adjust Color」メニューを選択すると、サブメニューで更に RGB 値を最適な状態に調節することができます。
Language (言語)	OSD メニューに表示される言語を選択します。
OSD Duration (OSD 持続時間)	画面に OSD が表示される時間を設定することができます。OSD への入力がないまま、ここで指定した時間が経過すると、OSD 画面は終了します。
Input Source (入力ソース)	CL3800 に接続するセカンドコンソールで、アナログ (VGA) とデジタル (HDMI、DVI) の入力ソースのどちらを使用するかを選択します。なお、CL3700 と CL3100 では入力ソースを複数選択することができないため、このオプションはご利用いただけません。詳細については p.20「セカンドコンソールセクション」を参照してください。
Reset (リセット)	メニューおよびサブメニューで設定した値すべてを工場出荷時のデフォルト値にリセットします。 <b>注意:</b> 言語はデフォルト値に戻らず、設定した言語のままです。

## ホットプラグ

---

CL3800/CL3700/CL3100はホットプラグに対応しているため、製品本体の電源を落とすことなく、ケーブルを抜き差しするだけで、機器を取り外したり追加したりすることができます。

## シャットダウンと再起動

---

CL3800/CL3700/CL3100 をシャットダウンする(例:ファームウェアのアップグレード時)必要がある場合、リアパネルにある電源スイッチを使用して、製品本体の電源を切ってください。CL3800/CL3700/CL3100 を再起動するには、この電源スイッチを押して電源を入れてください。

## ホットキー

下表に示したホットキーで CL3800/CL3700/CL3100 のコンソール選択を行うことができます。

ホットキー	説明	ビープ音	LED
[Ctrl] [Alt] [Shift] [P] [C] [Enter]	キーボードエミュレーションをノーマルモード (Windows など) に設定します。	2	なし
[Ctrl] [Alt] [Shift] [M] [A] [C] [Enter]	キーボードエミュレーションを Mac に設定します。	2	なし
[Ctrl] [Alt] [Shift] [S] [U] [N] [Enter]	キーボードエミュレーションを Sun に設定します。	2	なし
[Ctrl] [Alt] [Shift] [u] [p] [g] [r] [a] [d] [e] [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを起動します。 <b>注意:</b> このホットキーはファームウェアアップグレードリカバリースイッチ(p.18 参照)が「Normal」の位置にある場合にのみ動作します。	なし	3 アップグレード実行中に点滅
[Ctrl] [Alt] [Shift] [L] [Enter]	ローカル (LCD) コンソールを有効にし、リモート (セカンド) コンソールを無効にします。	2	なし
[Ctrl] [Alt] [Shift] [R] [Enter]	リモート (セカンド) コンソールを有効にし、ローカル (LCD) コンソールを無効にします。	2	なし
[Ctrl] [Alt] [Shift] [L] [R] [Enter] または [Ctrl] [Alt] [Shift] [R] [L] [Enter]	両方のコンソールを有効にします (デフォルト値)。	2	なし

(表は次のページに続きます)

ホットキー	説明	ビープ音	LED
[Ctrl] [Alt] [Shift] [U] [M] [Enter]	フロント USB ポートをマウスモードに設定します (マウス機能はすぐに USB マウスモードに切り替わります)。(USB マウスモード[U][M]はデフォルトです)	2	なし
[Ctrl] [Alt] [Shift] [U] [P] [Enter]	フロント USB ポートを周辺機器モードに設定します	2	なし
[Ctrl] [Alt] [Shift] [F4] [Enter]	製品本体の設定内容をテキストとしてコピーします。設定内容はテキストエディターやワープロソフトに貼り付けて確認することができます。	なし	なし

- 
- 注意:**
1. キーは、まず[Ctrl]、次に[Alt]、次に[Shift]というように、一度に1つずつ順番に押してください。
  2. コンソールの選択状態は保存されません。CL3800/CL3700/CL3100 の電源を切ると、次に電源を入れた時には両方のコンソールが有効となるデフォルト値に戻ります。
  3. [Shift] [Ctrl] [Alt]の各キーは、左右どちらのキーを使っても構いません。
  4. CL3800/CL3700/CL3100 に接続されている KVM スイッチで[Ctrl] [Alt] [Shift]というキーを使用してホットキーモードを起動させる場合、CL3800/CL3700/CL3100 はそのホットキーをまずコンソールの選択用のホットキーと捉えるため、KVM スイッチ側のホットキー操作が重複していないかご確認ください。
-

# 第4章

## ファームウェアアップグレード

### ファームウェアアップグレードユーティリティ

---

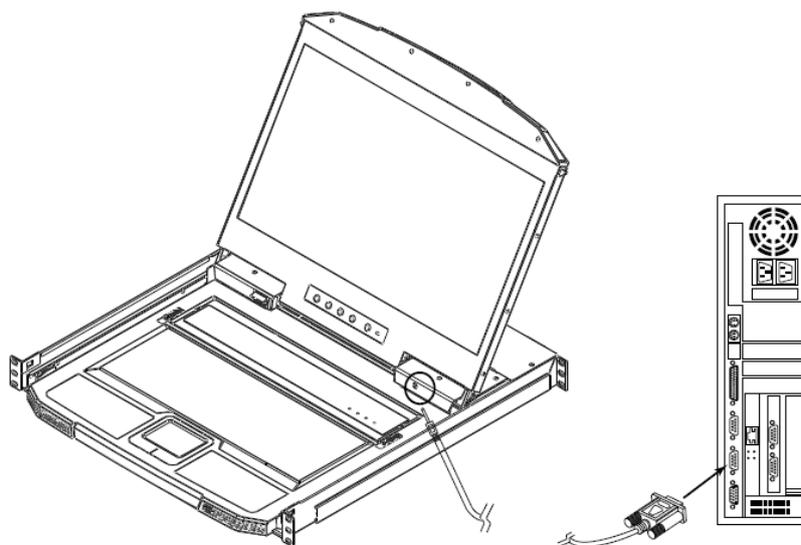
CL3800/CL3700/CL3100 の新しいファームウェアが利用できるようになると、ATEN の Web サイトにそのファームウェアアップグレードパッケージが公開されます。Window ベースのファームウェアアップグレードユーティリティ (FWUpgrade.exe) を使用して、CL3800/CL3700/CL3100 のファームウェアを自動的にアップグレードさせることができます。弊社 Web サイト (<http://www.aten.com/jp/ja/>) にて、最新のファームウェアや関連情報を定期的にご確認ください。ダウンロードは、1) 製品ページ内の「サポートとダウンロード」メニューからアクセス、または、2) ホームページのトップページの右上に表示される (表示画面のサイズによっては画面左上に三本線のアイコンが表示されるので、それをクリックすると表示される) 「サポートとダウンロード」→「ダウンロード」→「他の製品の資料をダウンロードする」に型番を入力して検索する方法で行えます。

## 作業を始める前に

アップグレードを始める前に、以下の作業を行ってください。

この作業を実施するためにシリアルポート(COMポート)が搭載されたPCか、弊社製USB-シリアルコンバーター「UC-232A」等とPCをご準備ください。

1. CL3800/CL3700/CL3100 に接続されていないコンピューターから ATEN のインターネットサポートサイトにアクセスし、ファームウェアアップグレードパッケージのリストからお使いのデバイス (CL3800/CL3700/CL3100) の型番を選択してください。
2. インストールしたいファームウェアアップグレードパッケージ (通常は最新版) を選択し、このパッケージをお使いのコンピューターにダウンロードしてください。
3. 製品同梱のファームウェアアップグレードケーブルを使用して、上記のコンピューターの COMポートと CL3800/CL3700/CL3100 のファームウェアアップグレードポートを接続してください。



## ファームウェアアップグレードモード

CL3800/CL3700/CL3100 のファームウェアアップグレードモードにアクセスするには、ホットキーを入力する (p.48「ホットキー」参照) 方法と、CL3800/CL3700/CL3100 をファームウェアアップグレードリカバリーモードに設定する (p.57「ファームウェアアップグレードリカバリー」参照) 方法の 2 種類からお選びいただけます。

---

**注意:** ホットキーを使用してファームウェアアップグレードモードを起動するには、ファームウェアアップグレードスイッチ (p.18 参照) が「**NORMAL**」の位置になければなりません。

---

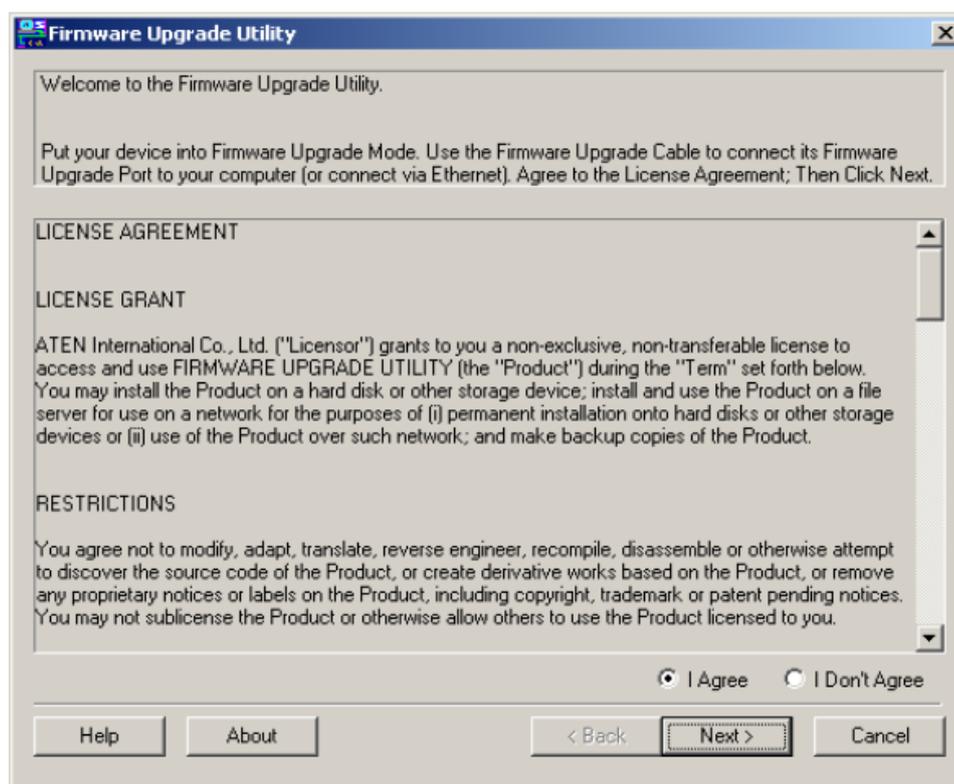
1. CL3800/CL3700/CL3100 のコンソールの後側にある電源スイッチを使用して、製品本体の電源を切ってください。
2. ファームウェアアップグレードスイッチを「**NORMAL**」の位置にあることを確認してください (p.18 参照)。
3. CL3800/CL3700/CL3100 のリアパネルにある電源スイッチを使用して、製品本体の電源を入れてください。
4. p.48「ホットキー」を参照し、アップグレードモードを起動してください。  
CL3800/CL3700/CL3100 がファームウェアアップグレードモード中の場合、[Num Lock]、[Caps Lock]、および[Scroll Lock]の LED が点滅します。
5. 続けて次ページの「アップグレードの実行」を行ってください。

ファームウェアアップグレードモードを終了するには、p.57「ファームウェアアップグレードモードの終了」を参照してください。

## アップグレードの実行

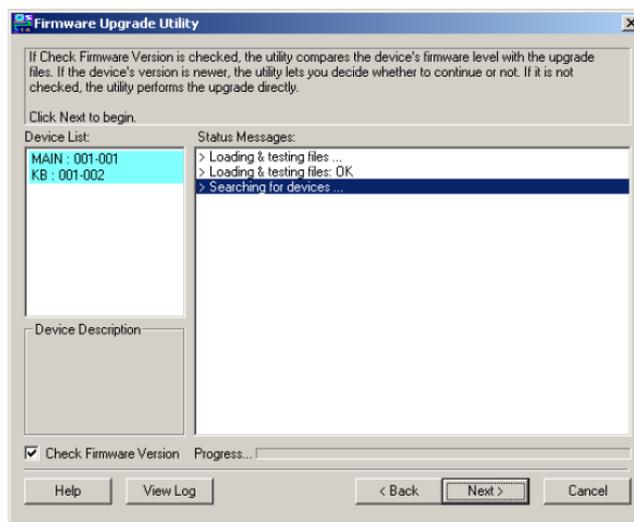
### アップグレードの開始

1. CL3800/CL3700/CL3100 をファームウェアアップグレードモードにした状態で、作業用 PC にダウンロードしたプログラムのアイコンをダブルクリックして、実行してください。  
「Firmware Upgrade Utility」(ファームウェアアップグレードユーティリティ)の初期画面が表示されます。



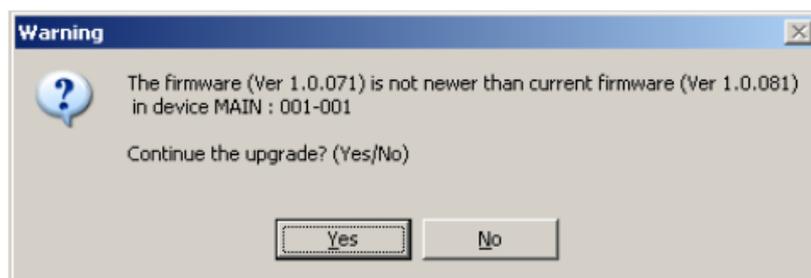
2. ライセンス使用許諾契約を確認し、同意する場合は「I Agree」(同意する)ボタンを有効にしてください。

3. 「Next」(次へ) ボタンをクリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。



ユーティリティがセットアップされた機器を精査し、このパッケージでアップグレードできる全デバイスを「Device List(デバイスリスト)」パネルに表示します。

3. 「Next」(次へ) をクリックしてアップグレードを実行してください。
- ◆ 「Check Firmware Version」(ファームウェアバージョンを確認する) を有効にするとユーティリティはデバイスのファームウェアのバージョンとファームウェアアップグレードファイルのバージョンとを比較します。デバイスのファームウェアのバージョンがアップグレードファイルのバージョンよりも新しければ、ダイアログボックスにその旨が表示されるので、このままアップグレードを続けるかどうかを選択してください。

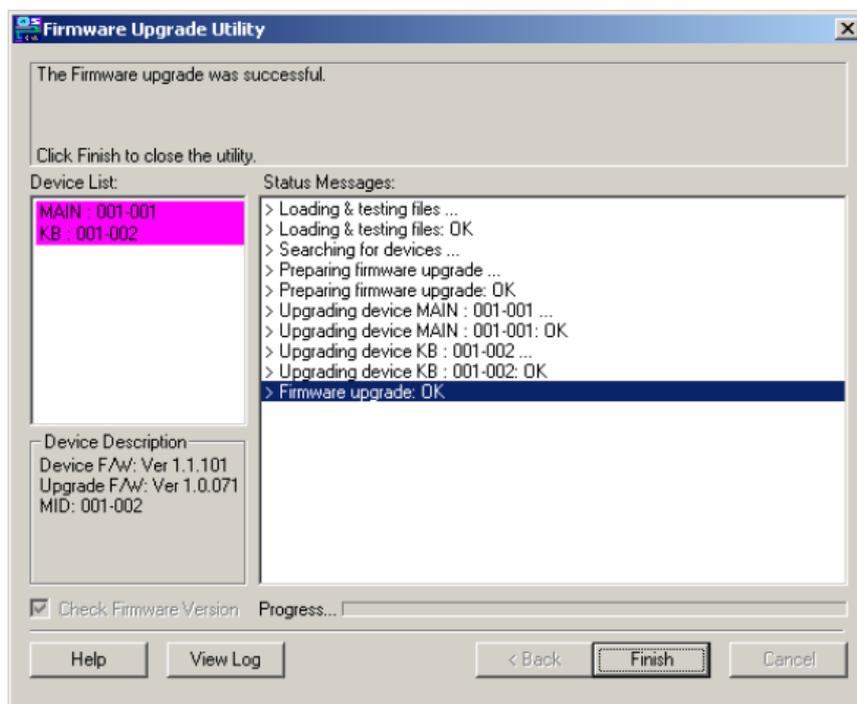


「Check Firmware Version」(ファームウェアバージョンを確認する) を有効にしなかった場合、ユーティリティはデバイスのファームウェアとアップグレードファイルのバージョンを比較せずに、そのままインストールします。

- ◆ アップグレードの進行具合は「Status Message」(ステータスメッセージ) パネルに、進捗状況はプログレスバーに、それぞれ表示されます。

## アップグレードの成功

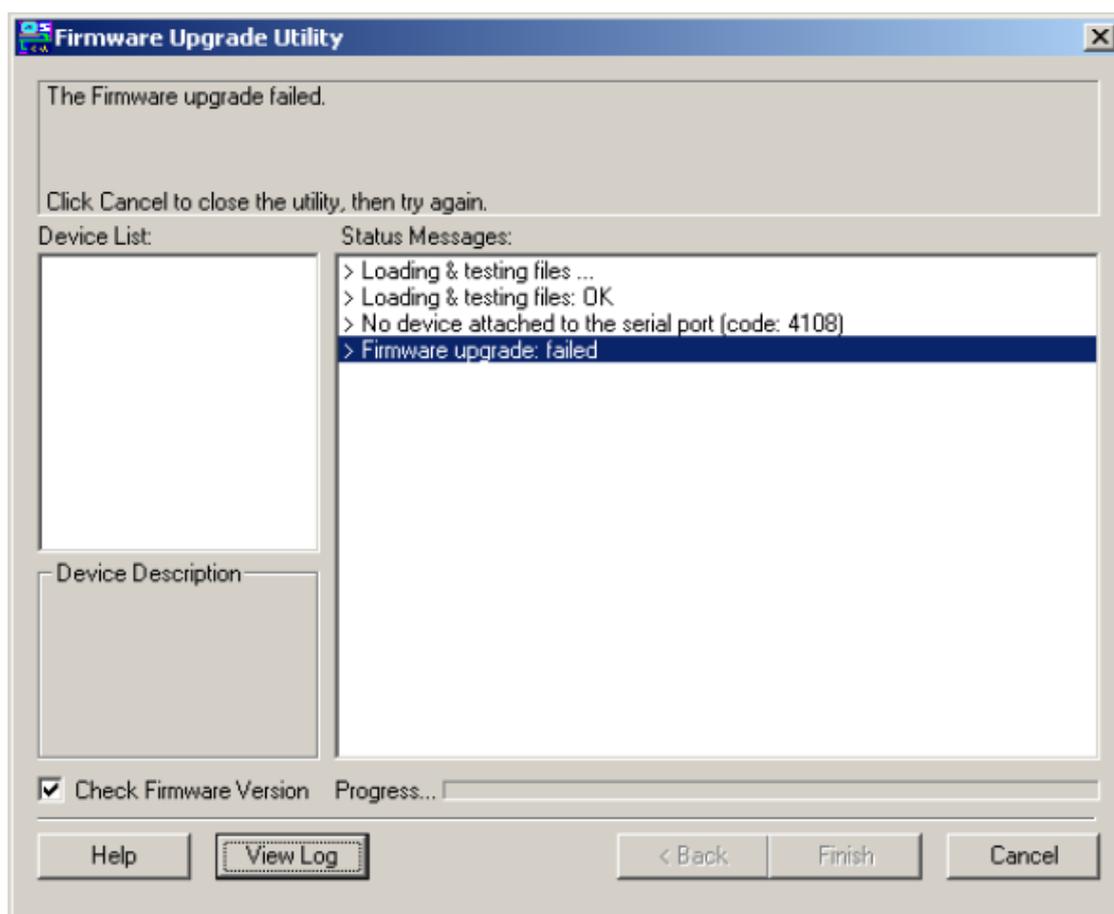
アップグレードが完了すると、以下の画面が表示され、アップグレードが成功したことを表します。



「Finish」(完了)をクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。

## アップグレードの失敗

アップグレードに失敗した場合には、「Upgrade Failed」(アップグレードの失敗)の画面が表示されます。



「Cancel」(キャンセル)をクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。そして、次項の「ファームウェアアップグレードリカバリー」を参照しながら、作業を続けてください。

## ファームウェアアップグレードリカバリー

下記の条件下では、ファームウェアアップグレードリカバリーを行う必要があります。

- ◆ 製品のアップグレードが何らかの理由により中断され、操作できなくなった場合。
- ◆ ファームウェアアップグレードの進行が失敗した場合。

ファームウェアアップグレードリカバリーを行うには、下記の手順に従ってください。

1. CL3800/CL3700/CL3100 の電源を切ってください。
2. ファームウェアアップグレードケーブルをファームウェアアップグレードポートに接続してください。
3. ファームウェアアップグレードリカバリースイッチを「RECOVER」の位置にスライドしてください。
4. CL3800/CL3700/CL3100 に電源を入れ、p.52「ファームウェアアップグレードモード」を参照してアップグレードを再度実施してください。
5. CL3800/CL3700/CL3100 のアップグレードに成功したら、電源を切り、ファームウェアアップグレードリカバリースイッチを元の「NORMAL」の位置に戻してください。
6. CL3800/CL3700/CL3100 の電源を入れてください。

---

**注意:** ファームウェアのリカバリーを行ってもシステムの復帰ができない場合は、製品のご購入元か、弊社技術サポート窓口までお問い合わせください。

---

## ファームウェアアップグレードモードの終了

ファームウェアアップグレードモードを終了するには、下記の手順に従ってください。

1. ファームウェアアップグレードスイッチ (p.18 参照) を「NORMAL」の位置にスライドしてください。
2. p.47「シャットダウンと再起動」に記載された手順に従って、CL3800/CL3700/CL3100 をシャットダウンしてから、再起動してください。

# 付録

## 製品仕様

### CL3800

機能	CL3800NW	CL3800NX
<b>コンピューター接続数</b>		
ダイレクト	1	
コンピューター側対応 インターフェース	キーボード/マウス:USB	
セカンドコンソール側 対応インターフェース	キーボード/マウス:USB	
コンソール選択	ホットキー	
<b>コネクタ</b>		
セカンドコンソール ポート	キーボード:USB Type-A メス×1 マウス:USB Type-A メス×1 モニター:HDMI メス×1、DVI-D メス×1、D-sub 15ピン メス×1 スピーカー:ステレオミニジャック×1	
KVM ポート	キーボード/マウス:USB Type-B メス×1 モニター:HDMI メス×1、DVI-D メス×1、D-sub 15ピン オス×1 スピーカー:ステレオミニジャック×1	
USB ポート	USB Type-A メス×1	
ファームウェア アップグレード	ステレオミニジャック×1	
電源	3極 AC 電源ソケット×1	
<b>スイッチ</b>		
リセット	ピンホール型スイッチ×1	
ファームウェア アップグレード	スライドスイッチ×1	
電源	ロッカースイッチ×1	
LCD 電源	プッシュボタン×1	
LCD 調節	プッシュボタン×4	

(表は次のページに続きます)

機能	CL3800NW	CL3800NX
<b>LED</b>		
電源	KVM コンソール×1 (Dark Green) LCD×1 (Orange)	
Lock	Num Lock×1 (Green) Caps Lock×1 (Green) Scroll Lock×1 (Green)	
<b>ビデオ</b>		
入力ビデオ解像度	1920×1200 @60Hz	
<b>パネル仕様</b>		
画面サイズ	18.5 インチ TFT-LCD	
解像度	1920×1080 @60Hz	1366×768 @60Hz
ピクセルピッチ	0.213 mm×0.213 mm	0.3 mm×0.3 mm
応答時間	20 ms	5 ms
視野角	178 ° (水平)、178 ° (垂直)	170 ° (水平)、160 ° (垂直)
コントラスト比	1000:1	
対応色	1677 万色	
輝度	350 cd/m <sup>2</sup>	250 cd/m <sup>2</sup>
<b>エミュレーション</b>		
キーボード / マウス	USB	
最大出力電流	AC100～240V、50/60Hz、1A	
消費電力	26.6W	110V
<b>動作環境</b>		
動作温度	0～40℃	
保管温度	-20～60℃	
湿度	0～80%RH、結露なきこと	
<b>ケース</b>		
ケース材料	メタル、プラスチック	
重量	9.61 kg	9.79 kg
サイズ(W×D×H)	481×515×43mm	
ボディサイズ (W×D×H)	450×470×43mm	
*ボディサイズはI/Oポート、ハンドル、マウント用ブラケットを除いたサイズです。		

(表は次のページに続きます)

機能	CL3800NW	CL3800NX
同梱品	イージーセットアップラックマウントキット(ショート or ロング) ×1 2L-7D02UH(1.8m) ×1 ファームウェアアップグレードケーブル×1 電源ケーブル×1 クイックスタートガイド×1	

## CL3700

機能	CL3700NW	CL3700NX
<b>コンピューター接続数</b>		
ダイレクト	1	
コンピューター側対応 インターフェース	キーボード/マウス:USB	
セカンドコンソール側 対応インターフェース	キーボード/マウス:USB	
コンソール選択	ホットキー	
<b>コネクタ</b>		
セカンドコンソール ポート	キーボード:USB Type-A メス×1 マウス:USB Type-A メス×1 モニター:HDMI メス×1	
KVM ポート	キーボード/マウス:USB Type-B メス×1 モニター:HDMI メス×1	
USB ポート	USB Type-A メス×1	
ファームウェア アップグレード	ステレオミニジャック×1	
電源	3 極 AC 電源ソケット×1	
<b>スイッチ</b>		
リセット	ピンホール型スイッチ×1	
ファームウェア アップグレード	スライドスイッチ×1	
電源	ロッカースイッチ×1	
LCD 電源	プッシュボタン×1	
LCD 調節	プッシュボタン×4	
<b>LED</b>		
電源	KVM コンソール×1 (Dark Green) LCD×1 (Orange)	
Lock	Num Lock×1 (Green) Caps Lock×1 (Green) Scroll Lock×1 (Green)	

(表は次のページに続きます)

機能	CL3700NW	CL3700NX
<b>ビデオ</b>		
入力ビデオ解像度	1920×1200 @60Hz	
<b>パネル仕様</b>		
画面サイズ	18.5 インチ TFT-LCD	
解像度	1920×1080 @60Hz	1366×768 @60Hz
ピクセルピッチ	0.213 mm×0.213 mm	0.3 mm×0.3 mm
応答時間	20 ms	5 ms
視野角	178° (水平)、178° (垂直)	170° (水平)、160° (垂直)
コントラスト比	1000:1	1000:1
対応色	1677 万色	1677 万色
輝度	350 cd/m <sup>2</sup>	250 cd/m <sup>2</sup>
<b>エミュレーション</b>		
キーボード / マウス	USB	
最大出力電流	AC100～240V、50/60Hz、1A	
消費電力	23.3W	13.6W
<b>動作環境</b>		
動作温度	0～40℃	
保管温度	-20～60℃	
湿度	0～80%RH、結露なきこと	
<b>ケース</b>		
ケース材料	メタル、プラスチック	
重量	9.01 kg	9.03 kg
サイズ(W×D×H)	481×478×43mm	
ボディサイズ (W×D×H)	450×430×43mm	
*ボディサイズはI/Oポート、ハンドル、マウント用ブラケットを除いたサイズです。		
<b>同梱品</b>	イージーセットアップラックマウントキット(ショート or ロング)×1 2L-7D02UH(1.8m)×1 ファームウェアアップグレードケーブル×1 電源ケーブル×1 クイックスタートガイド×1	

## CL3100

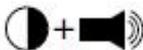
機能	CL3100NX
<b>コンピューター接続数</b>	
ダイレクト	1
コンピューター側対応インターフェース	キーボード/マウス:USB
セカンドコンソール側対応インターフェース	キーボード/マウス:USB
コンソール選択	ホットキー
<b>コネクタ</b>	
セカンドコンソールポート	キーボード:USB type-A メス×1 マウス:USB type-A メス×1 モニター:D-sub 15ピン メス×1 スピーカー:ステレオミニジャック×1
KVMポート	モニター:SPHD メス×1 (Yellow) スピーカー:ステレオミニジャック×1
USBポート	USB type-A メス×1
ファームウェアアップグレード	ステレオミニジャック×1
電源	3極 AC 電源ソケット×1
<b>スイッチ</b>	
リセット	ピンホール型スイッチ×1
ファームウェアアップグレード	スライドスイッチ×1
電源	ロッカースイッチ×1
LCD 電源	プッシュボタン×1
LCD 調節	プッシュボタン×4
<b>LED</b>	
電源	KVM コンソール×1 (Dark Green) LCD×1 (Orange)
ロック	Num Lock×1 (Green) Caps Lock×1 (Green) Scroll Lock×1 (Green)
<b>ビデオ</b>	
入力ビデオ解像度	1920×1200 @60Hz

(表は次のページに続きます)

機能	CL3100NX
<b>パネル仕様</b>	
画面サイズ	18.5 インチ TFT-LCD
解像度	1366×768 @60Hz
ピクセルピッチ	0.3 mm×0.3 mm
応答時間	5 ms
視野角	170° (水平)、160° (垂直)
コントラスト比	1000:1
対応色	1677 万色
輝度	250 cd/m <sup>2</sup>
<b>エミュレーション</b>	
キーボード / マウス	USB
最大出力電流	AC100～240V、50/60Hz、1A
消費電力	13.8W
<b>動作環境</b>	
動作温度	0～40℃
保管温度	-20～60℃
湿度	0～80%RH、結露なきこと
<b>ケース</b>	
ケース材料	メタル、プラスチック
重量	9.07 kg
サイズ(W×D×H)	481×480×43mm
ボディサイズ(W×D×H)	450×430×43mm
*ボディサイズはI/Oポート、ハンドル、マウント用ブラケットを除いたサイズです。	
<b>同梱品</b>	イージーセットアップラックマウントキット(ショート or ロング)×1 2L-5302U(1.8m)×1 ファームウェアアップグレードケーブル×1 電源ケーブル×1 クイックスタートガイド×1

## Sun キーボードエミュレーション

[Ctrl]キーとほかのキーを組み合わせることで、PC 互換(101/104 キー)キーボードからキーマッピングのエミュレーション機能を利用して Sun のキーボードのファンクションキーを使用することができます。該当する機能については下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl] [F2]	Again
[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [F7]	Open
[Ctrl] [F8]	Paste
[Ctrl] [F9]	Find
[Ctrl] [F10]	Cut
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Ctrl] [H]	Help
	Compose
	

**注意:** 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー)を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

## Mac キーボードエミュレーション

キーマッピングのエミュレーション機能により、PC 互換(101/104 キー)キーボードは Mac キーボードのファンクションキーを使用することができます。エミュレーションマッピングは下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

**注意:** 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー) を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

## トラブルシューティング

問題	解決方法
セカンドコンソールモニターにゴーストが映る。	セカンドコンソールモニターとCL3800との距離が離れすぎています。DVIケーブルの長さは最大 20m で、場合によってはケーブル長をさらに短くする必要があります。現在のものより短く、適切な長さの DVI ケーブルに交換してください。
キーボードから入力した一部の文字が正しく表示されない。	ポートのキーボードレイアウト設定がご使用のキーボードと合っていません。ご使用のキーボードレイアウトに合うように、KVM スイッチ側でポートのキーボードレイアウトを変更してください。
Sun コンピューターを操作するのに、Sun の外部キーボードの特殊キーが使用できない。	Sun キーボード機能を利用する場合には、Sun キーボードエミュレーション機能 (p.65 参照) を使用してください。